

# 東京文化会館

令和3～8年度  
指定管理者

提案書類（事業計画書）

団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

所在地 千代田区九段北4-1-28

代表者名 日枝 久

# 目次

## 課題2 〔管理運営の基本方針〕

---

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 管理運営の基本方針と達成目標について             | 1 |
| (1) 基本方針と達成目標                    | 1 |
| 2 国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)について | 9 |

## 課題3 〔事業に関する業務〕

---

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| 1 芸術文化の振興に関する事業について     | 12 |
| (1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針    | 12 |
| (2) 教育普及活動              | 22 |
| (3) 人材の育成               | 27 |
| 3 調査研究の取組及び音楽資料室の運営について | 32 |
| (2) 音楽資料室の運営            | 32 |
| 4 館の事業を支える仕組みについて       | 35 |
| (1) 広報の充実               | 35 |

## 課題4 〔館の運営に関する業務〕

---

- |                   |    |
|-------------------|----|
| 2 館内サービスについて      | 37 |
| (1) 来館者への基本的なサービス | 37 |

## 課題6 〔館の管理その他に関する業務〕

---

- |                  |    |
|------------------|----|
| 1 館の管理について       | 39 |
| (2) 危機管理体制の整備    | 39 |
| 2 地域等との連携の取組について | 42 |

提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について  
(1)基本方針と達成目標

1. 基本方針

(1) スローガン

より多くの人々に集い親しまれる劇場へ ～「音楽・舞台芸術の殿堂」＝響きあう感動をあらゆる人々と～

開場以来60年間、「音楽・舞台芸術の殿堂」として多くの人々が当館を訪れ、愛され親しまれています。さらに、次期指定管理期間では、培った制作力や国内外とのネットワークを活かした高い芸術性を担保しつつ、社会的課題にも取り組みながら、幅広く鑑賞の機会や若手の輩出、学びや体験の機会を提供し、あらゆる人々が感動を分かち合える劇場を目指します。

(2) ステートメント

○ 「音楽の入口体験から本格鑑賞・演奏への橋渡し」

高水準の舞台芸術を鑑賞されるお客様を大切にしつつ、音楽・舞台芸術の素晴らしさをより多くの方々に味わっていただきます。

○ 「参加交流」できる「広場」となり、「社会包摂」のための「居場所」となる

乳幼児から青少年、子育て世代、高齢者までのあらゆる世代、障害者、外国人等、様々な個性を有する方々のための拠点となります。

(3) 方針

- ① 「音楽・舞台芸術の殿堂」たる良質な公演の鑑賞機会を提供します。
- ② 全国の文化施設をけん引する先駆的な自主事業を展開します。
- ③ 建物の魅力を生かしつつ、あらゆる人々が利用しやすい施設管理、機能更新を行います。

(4) 取組

- ① 自主事業の積極的な展開  
連動する創造発信、教育普及、人材育成の3本柱による自主事業の展開と国内外に向けた成果の還元
- ② 貸館運営  
戦略的な施設の貸出による世界最高水準の公演の提供、貸館公演との連携・協力による公益事業の実施
- ③ 音楽資料室の運営
- ④ 総合的な機能・魅力を発信する館運営  
安全・安心の施設管理と舞台運営、バリアフリー・ユニバーサル化の推進、多言語化の推進、外部資金の導入、戦略的広報の取組、館の魅力を発信力強化・充実、地域連携の取組、職員の育成・スキルアップ

(5) 概念図

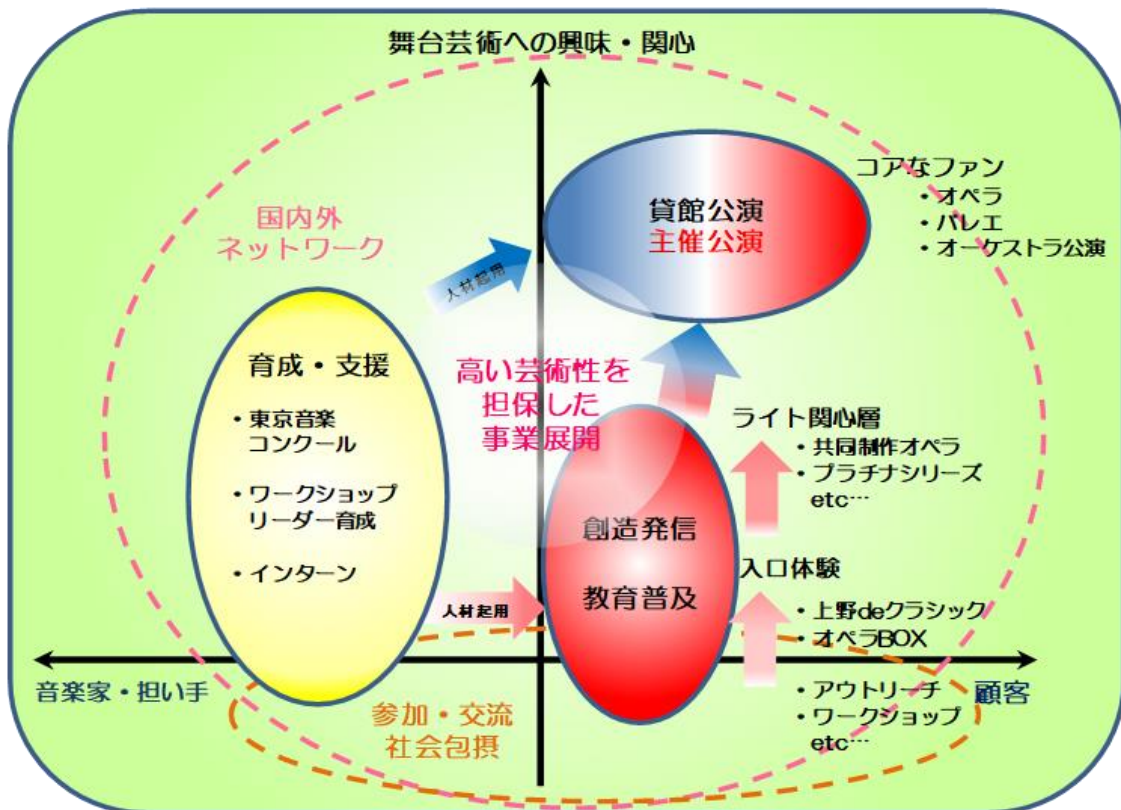
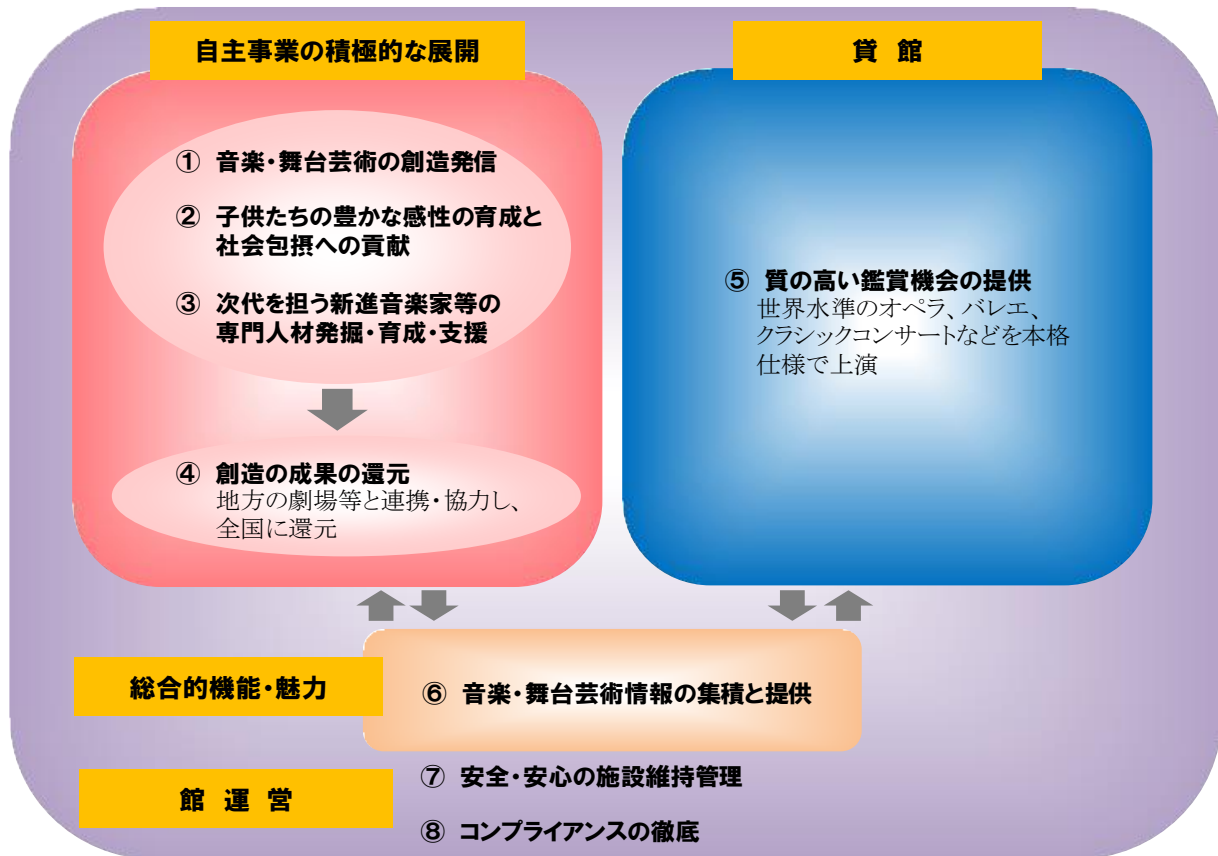


事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について

(1)基本方針と達成目標

私たちは東京文化会館の設置目的と指定管理者に求められる役割を十分に理解し、「東京文化ビジョン」が定める東京文化会館に係る「新たな運営方針」に即して、次の8つを6年間の指定管理期間における「基本方針」として館の管理運営に取り組んでまいります。



事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について (1)基本方針と達成目標

### ① 音楽・舞台芸術の創造発信

音楽・舞台芸術の殿堂としての知名度や地の利を生かし、創造的・社会的・教育的な自主事業を展開します。既成の枠に捉われず、舞台空間の創造の可能性を探索した作品を国内外の一流の演出家・出演者等とともに創り上げ、音楽・舞台芸術の魅力を発信します。出演者には、人材育成事業により輩出された音楽家を積極的に起用し、若手の活躍の場の創出と研鑽の場としても機能します。

### ② 子供たちの豊かな感性の育成と社会包摂への貢献

子供たちの音楽・舞台芸術への豊かな感性を育み、芸術文化の次世代への継承・発展を図るとともに、障害者や社会的に孤立した状況にある人々などの社会的な包摂を図るため、音楽・舞台の喜びの体験や芸術家との直接の触れあい等を伴うアウトリーチ活動や参加体験型のワークショップなどを積極的に企画し、広く展開します。事業の牽引役には、人材育成事業により輩出された音楽家やワークショップ・リーダー、若手制作者等を起用し、活躍の場としても機能します。

### ③ 次代を担う新進音楽家等の専門人材発掘・育成・支援

「東京音楽コンクール」の一層の充実などにより、世界で活躍可能な才能を持つ新進音楽家を発掘します。発掘した音楽家については、自主事業での起用やオーケストラとの共演などを通じて発表の機会や場を提供し、芸術性と社会性を備えたアーティストへと育成していきます。

また、次代の舞台芸術を支えるアートマネジメント人材や、教育プログラムの牽引役であるワークショップリーダー、舞台技術の継承者等の専門人材を育成します。

このような取組を地域を代表する東京藝術大学を始めとした諸大学とも連携しながら、各事業に起用することを通じて若手の活躍する機会を創出していきます。

### ④ 創造の成果の還元

創造の成果を多くの人々、特に子供や青少年に発信し、次代を支える新たな顧客を創出するとともに、挑戦的で優れた作品を積極的に提供するなど、自主事業の成果について地方の劇場等と連携・協力しながら全国に還元します。

### ⑤ 質の高い鑑賞機会の提供

間もなく60年を迎える、歴史と伝統を有する音楽・舞台芸術の殿堂として、高い技術力と高度な貸館運営によって世界水準のオペラ・バレエ・クラシックコンサートなどを本格仕様で上演し、国内外のアーティストに他施設では実現できない特別な公演の場を提供するとともに、都民に質の高い鑑賞機会を提供します。

「奇跡の響」と称賛される小ホールでは公立文化施設ならではの一流音楽家のリサイタルを企画・制作し、民間では実現できない手頃な料金で提供します。

当館ならではの世界水準の公演を広く若い世代に提供するために、貸館主催者との連携によるリハーサルの公開やバックステージツアー等を開催し、提携した大学の学生や児童向けに提供していきます。

### ⑥ 音楽・舞台芸術情報の集積と提供

音楽・舞台芸術情報の一大集積地として、音楽・舞台芸術に関する価値ある情報を的確に収集・整理・提供して音楽愛好家や研究者等の活動をサポートし、日本の音楽界全体の水準向上に寄与します。

### ⑦ 安全・安心の施設維持管理

公の施設として利用者や来場者が安心して施設を利用できるよう安全面には特に配慮し、予防保全的メンテナンスを実施します。また利用者に対しては設備・機器の利用方法などの確かなアドバイスを行い、施設予約から搬出まで円滑な運営を第一に考えていきます。

なお、東京文化会館が歴史的価値の高い建造物であるということも十分に認識し、改修や修繕にあたっては、建物の良さと価値を活かしながら同時に利便性の向上を図るよう計画的に進めていきます。

### ⑧ コンプライアンスの徹底

東京文化会館及び東京芸術劇場条例をはじめとする各種法令等の遵守を徹底するとともに、当財団が定める個人情報の保護に関する規程やプライバシーポリシーを遵守するなど、コンプライアンスの確保に努めていきます。

また、管理運営を通じて指定管理者に委譲される権限等の行使についても、東京都の行政サービスの代行ということを常に念頭におきながら、適正な管理運営に努めていきます。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について  
(1)基本方針と達成目標

## 2. 達成目標

これまでの館の運営にあたっては、ホールの高い稼働率や「東京音楽コンクール」等の主催事業に代表されるように、優れた実績を残してまいりました。私たちは公の施設としてより多くの来館者、利用者が最高のサービスを受けられるよう創意工夫に努め、さらなる高みを目指していきます。  
そのため次の目標を定め、その実現に努めてまいります。

### 目標 1

音楽・舞台芸術の創造・発信

★財団重点目標 1 最先端技術を活用した発信

★財団重点目標 2 間口を広げ、主体的に関わる仕組みづくり

舞台芸術の創造発信拠点として、既成の枠にとらわれず、新たな可能性を探求した作品を創造し発信します。国内外の一流の演出家や作曲家、出演者等との協働や国内外の劇場との連携を図り、質の高い創造とともに、新たな顧客の開拓、全国への幅広い成果の還元を図ります。

#### 【評価指標の例】

目標1・・・オンライン・プログラム制作件数・アクセス件数

目標2・・・はじめて施設に来館した人数、Welcome Youth舞台芸術への参加児童・学生数

### 目標 2

新進音楽家等の専門人材の育成・支援

「東京音楽コンクール」を一層充実させ、世界で活躍可能な才能を持つ新進・若手音楽家を発掘、主催事業に起用し、演奏機会を提供する等の支援を行い、芸術性・社会性を備えた芸術家へと育成していきます。また、アートマネジメント人材や、教育普及プログラムを牽引するワークショップリーダーなど、制作や事業運営を支える専門人材の育成も進めていきます。

### 目標 3

次世代への音楽文化の継承と教育普及、社会包摂・社会的課題の解決に向けた取組の実施

★財団重点目標 1 最先端技術を活用した発信

★財団重点目標 2 間口を広げ、主体的に関わる仕組みづくり

★財団重点目標 3 「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」に取組む

子供たちに音楽や舞台の喜び体験を通じ、豊かな感性を育む一助としつつ、音楽文化の次代への継承を図ります。音楽への関心が低い層に対し、気軽に音楽・舞台芸術に触れる「入口体験」の機会を広く提供します。高齢者や障害者など、社会的に孤立しがちな人々に対し、豊かな感性やコミュニケーション、自己肯定感等を涵養し、生きる力を高める一助となるべく、手軽に音楽の楽しさを体験できる参加交流型のワークショップや、芸術家と直接触れ合うアウトリーチ活動等を積極的に実施します。

#### 【評価指標の例】

目標1・・・オンライン・プログラム制作件数・アクセス件数、オンライン・プログラムによる情報提供数

目標2・・・Welcome Youth舞台芸術への参加児童・学生数、アウトリーチ実績数

目標3・・・障害者施設・高齢者施設の連携数、参加者の満足度

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について**  
**(1)基本方針と達成目標**

- ★財団重点目標 1 最先端技術を活用した発信  
 ★財団重点目標 2 間口を広げ、主体的に関わる仕組みづくり  
 ★財団重点目標 3 「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」に取り組む

提案課題2[管理運営の基本方針]1-(1)「達成目標」において提案した重点目標1 最先端技術を活用した発信、重点目標2 間口を広げ、主体的に関わる仕組みづくり、重点目標3 「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」に取り組むについて、オンラインプログラムの制作数・アクセス数、初来館者%、参加児童数、障害者・福祉施設等の連携数、満足度等の実績は、下記のとおりとなります。

- 1.オンラインプログラム制作数…14件(令和3)、9件(令和4)
- 2.アクセス数(延べ)…12,271回(令和3)、4,190回(令和4)
- 3.初来館者(%)…15.7%(令和3平均)、15.5%(令和4平均)
- 4.参加児童数…130名(令和3、シアターデビュープログラム)、86名(令和4、同)
- 5.障害者・福祉施設等の連携数…延べ32回(令和3)、延べ30回(令和4)
- 6.満足度等…93.6%(R3)、92.1%(令和4)

・重点目標1については、創造発信、人材育成、教育普及・社会包摂の各事業においてオンラインを活用した発信を行い、施設に足を運べない人々にも届けることができた一方、著作権により配信が困難な作品も多く、制作費や業務量の増加に伴う負担(費用、体制面)が大きいと、今後は必要不可欠な作品等に絞っていくことも解決策の一つと考えています。

・重点目標2については、継続して実施している事業であることから参加者も多く安定しています。  
 少子高齢化を踏まえ、出産前の妊婦から乳幼児、子供達、高齢者、障害者、外国人等あらゆる人々が参加できる、音楽をコミュニケーションツールとしたワークショップを開催し、都内外でも開催が求められる取組として拡大しています。  
 子供の成長に合わせてファミリーで参加できる作品を数多く制作し、繰り返し上演しながらも飽きのこないプログラムを実現しており、複数年度に亘り様々な難易度で上演することから子供達の成長を実感できる取組として喜ばれています。また、本取組は高齢者の孤立防止や認知症対策等にも効果的であることも検証結果として評価されています。

本事業のみならず幅広い層に向けた多様な取り組みを展開する当館では、今後はまだ届けられていない対象に向けた取組を推進していくことで、劇場が心豊かな生活を育む場所として位置付けられ、人口減少の際にも利用者が激減することのないよう、あらゆる人々が足を運ぶことができる施設として機能するよう、培ったノウハウを活用し、事業を展開していきます。

・重点目標3については、福祉機関との連携が進み、特別支援学校での事業も開催希望が増加したため、すべての要望に応えられないまでに成長しています。今後は、都内在住の外国人に向け、「やさしい日本語」を取り入れた事業展開等も視野に、拡充していきたいと考えています。

・これらの各事業は、東京文化戦略2030を踏まえて実施しているもので、引き続き継続していくことが重要ですが、新たな取組や各機関との連携強化に向けては資金の拡充(予算の増額)が必至となります。

財団では、若年層を対象とし、プロモーション企画やプレゼント等の実施とともに、展覧会への無料招待を行うことにより、若年層が自らの意思で芸術文化に直に触れ、多彩な魅力を感じることで、文化に親しみきっかけづくりを創出し、将来の観客層を育むWelcome Youthに取り組んできました。

ホール2館の公演も対象にする等、Welcome Youthの取組の更なる鑑賞機会とともに、若年層向けの広報及びプロモーションの拡充を図ってまいります。

**事業者名・団体名** 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について  
(1)基本方針と達成目標

目標 4

質の高い鑑賞機会の提供

国内外の最高水準の公演の誘致や自主事業の実施により、ご来場のお客様に満足していただける公演ラインナップとサービス空間を提供します。実演団体等との公演日程調整等を的確・迅速に行うことで、継続した高い稼働率を目指します。更に、施設設備のメンテナンスを万全にし、確かな技術力とサービスで公演運営をサポートします。

【評価指標の例】

基準値

コマ稼働率

大ホール : 90%以上  
小ホール : 80%以上

日数稼働率

大ホール : 95%以上  
小ホール : 98%以上

■稼働率

使用コマ(日)数/使用可能コマ(日)数

※使用可能コマ(日)数にはメンテナンスに必要なコマ(日)を含めない

目標 5

ホスピタリティの充実と安全対策の強化

誰にも優しく、安全安心な施設を目指し、バリアフリー化や手話を含む多言語対応の取り組みを着実に推進していくとともに、セキュリティ対策の充実により、お客様への安全対策の強化を図っていきます。また、スマートカルチャー事業を通じた館内ネットワークの整備により、利用者の利便性の向上を図ります。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団



## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について (1)基本方針と達成目標

### 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応を踏まえた運営

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休館していた東京文化会館は、国の緊急事態宣言が解除され、東京都が策定した「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」のステップ2に移行したことを踏まえ、令和2年6月8日(月)から開館しました。開館にあたっては、関連のガイドラインも踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から必要な対策を講じております。

緊急事態宣言の発令による休館はこれまで施設の管理運営を担ってきた財団にとっても初めての経験であり、外出自粛や活動自粛により行動が制限されている中で文化施設が果たすべき役割として、事業計画書の「総合調整・共通事項」においてオンラインプログラムの編成やデジタルアーカイブの拡充を提案しています。

「新しい生活様式」に則った再開は財団にとって未曾有の取組であり、暗中模索の中での開館となっています。再開までの取組、また再開後の様々な取組を『「新しい日常」を踏まえた都立文化施設の運営のあり方』として、以下に示します。

基本的な新型コロナウイルス感染防止策を継続した上で、ポストコロナを見据えた安心安全な施設管理を進めます。

#### (1) 再開に向けた取り組み

東京文化会館では、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(令和2年5月14日・令和2年5月25日更新)公益社団法人全国公立文化施設協会)を参考に東京都、財団の方針も踏まえて「東京文化会館の感染予防対策ガイドライン」を作成し、感染症拡大防止のために取り組んでいます。

再開にあたり、施設管理者として消毒・換気の徹底、三つの「密」を解消し、ソーシャル・ディスタンスを確保するための準備を行い、来館者、主催者、関係者の皆様をお願いする事項について館内掲示、ウェブサイト、SNS等を活用して周知しました。

入館入口では手指消毒液を設置し、来場者には咳エチケット、マスク着用をお願いしています。主催公演においては入場時にサーモグラフィカメラや非接触型体温計による体温確認を実施することとし、貸館主催者に対しても同様の対応を要請します。音楽資料室の入室時においても、体温確認を行います。

このような対策を実施しながら、日々変化する感染拡大の状況を迅速に把握し、その状況によって対策を拡充・緩和しながら安心安全な運営を行います。

#### (2) 「Withコロナ」の課題と解決策

「Withコロナ」という新たな局面に入り、第2波の到来、「東京アラート」など変化する局面に対応しながら、「新しい日常」の中で感染防止対策と継続的な館運営の両立を図っていく必要があります。

##### 【課題】

- ・良質な芸術作品への体験機会の減少、芸術文化への関心の低下
- ・貸館公演の中止による施設使用料の収入減、レストラン、ショップ等の休業、営業不振による付帯事業収入減による館の事業収支の悪化

このような状況をふまえ、貸館・自主事業を以下のように運営します。

#### ① 貸館運営

「Withコロナ」局面においては、上演や集客の見通しが立てにくく従来の経験や知恵を活かすことが難しい場合もあると考えていますが、まずは感染症対策を十分に取しながら、安心・安全に来場者が公演を楽しみ、出演者・スタッフがよりよいパフォーマンスを出せるよう上演環境の提供に努めてまいります。

国内外の良質な公演の誘致については、公演運営環境や音響、立地のよさや知名度、廉価な利用料など従来からの強みに加え、感染拡大防止への対応強化を図ることにより、「Withコロナ」局面における安心・安全面をアピールし、継続的な利用と稼働率の維持向上を図ります。

例・楽屋スペースの利用人員を分散するため会議室スペースを提供

- ・サーモグラフィカメラと非接触型体温計の配備
- ・入場列等整理スタッフの強化

さらに、ICTを活用した配信など新たな公演モデルへの積極的な対応検討や貸館事業と自主事業が連携した公益的なプログラムの実施検討等を進めるとともに、今後、様々な状況の変化に迅速、柔軟に対応していくことで、「Withコロナ」、「Afterコロナ」においても「音楽・舞台芸術の殿堂」としての役割を果たしてまいります。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 1 管理運営の基本方針と達成目標について

### (1) 基本方針と達成目標

#### ② 「Afterコロナ」を見据えた「Withコロナ」の自主事業

##### 【良質な舞台芸術作品の提供】

「Withコロナ」の局面においては、休館時には自主事業はもとより、実演家・実演家団体も公演の中止や延期をせざるを得ない状況であるため、優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供が断たれるだけでなく、実演家や実演家団体、それらを支える舞台芸術の専門家の活動の機会も失われ、収入も断たれるという状況に陥っています。

このような状況下における公立文化施設が担う役割として、以下の2点が重要と考えます。

1. どのような局面においても優れた舞台芸術を安定して提供していくこと
2. 舞台芸術を支える実演家や専門家等を支援していくこと

これらの実現に向けて、また、「Afterコロナ」を見据え、以下のような取組の実現を目指します。

1. 安全対策を十分に整えた上で積極的な自主事業の実施  
経済的に困窮する状況下で公演の実現が困難な民間(=実演家・実演家団体=貸館主催者)との多様な連携を行いながら、東京文化会館が発掘・育成した人材や舞台芸術の専門家の活躍の場を創出します。

2. 上記の作品・公演の配信

これらの作品を収録し、「東京文化会館チャンネル」において配信することで、会場に足を運べない観客に提供することで、優れた舞台芸術の鑑賞機会の拡大を図ります。

3. 参加型ワークショップの改編と配信

東京文化会館のオリジナルである多様な対象に向けたワークショップを改編し、「Withコロナ」の局面においても安心・安全に参加していただける環境を整えます。

さらに、「東京文化会館チャンネル」の配信に向けて既存の作品の改編や、新たな作品を制作して提供します。

これらの取組を通じて、「Afterコロナ」においても「舞台芸術の殿堂」として生きた舞台芸術を提供を行いながら、優れた舞台芸術を配信を通じたより多くの多様な観客・参加者に提供してまいります。

##### 【安定的運営の基盤構築】

自主事業では入場料収入や文化庁の助成金等に加え、附帯施設事業収入を繰り入れて運営しています。助成金の大半は対象経費の50%補てんとなることから、自己財源の確保は必須ですが、休館が長期に及ぶ場合には運営費の見込みを立てることが困難に、また、客席利用の制限による入場料収入減等、「良質な舞台芸術作品の提供」の安定的な実現は容易ではありません。

このような状況の解決に向けて、以下のような財源確保を目指します。

1. 共同制作の牽引役として他の文化施設等との連携を強化し、制作費の軽減を図ります。
2. 実演家・実演家団体と連携し、開催方法を工夫して入場料収入減を最小限に抑えます。
3. 主催事業の入場料金を他の文化施設や民間等と比較検討し、自由席を指定席に変更する等による来館者への利便性の向上を図った上で改定することを検討します。
4. 立ち上げた協賛金制度に注力し、運営基盤の安定化を図ります。
5. 事業効果を見据え、企業との連携やクラウドファンディング等の活用も検討します。

これらの取組を通じて、「Afterコロナ」においても、安定した資金調達を実現し、鑑賞機会の拡充を目指します。

### (3) 今後の事業運営のあり方

「Withコロナ」における事業運営において培ったノウハウを、「Afterコロナ」では実施事業の拡大につなげていきます。

1. 運営費の削減と拡充を図り、提供する「舞台芸術」を拡充してまいります。
2. 「実演の場」としてのみならず、「オンライン」における鑑賞・体験の機会を提供してまいります。
3. これらの事業運営を通じて、実演家やそれらを支える舞台芸術の専門家を多角的に安定して支援してまいります。

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

提案課題2 [管理運営の基本方針] 2 国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)について

1.実施方針

全国の文化施設を牽引する役割を担う文化施設として、国内外の劇場や文化施設などと積極的に連携・協力し、海外の優れた先駆的な舞台芸術や、多様な芸術文化の魅力を広く・強く、特に子供や青少年に発信し全国に還元していくことで、次代を支える新たな顧客を創出するとともにあらゆる人々が芸術文化に参加する機会を創出してまいります。

連携	連携の取組	展開例
海外	優れた舞台芸術の積極的な共同制作や、新進音楽家の活躍の機会、欧米の先駆的な教育プログラム連携を拡大し、あらゆる人が芸術文化に参加し、交流する機会を創出してまいります。	
	舞台芸術の共同制作	斬新な作品を提案する海外の劇場と連携し、興行公演では観ることができない新しい舞台芸術の魅力を発信
	新進音楽家の国際交流	国際的な連携を構築し、海外での研鑽や活躍の場を創出
	先駆的な教育プログラムの実施	先行して取り組む教育プログラムを充実させ、劇場が持つ社会的な機能を十分に発揮していくために、欧米の先駆的な教育プログラムの連携を拡大
国内	全国公立文化施設協会の会長館として、様々な相談窓口となり、各種研修会の実施などを通じて文化施設のネットワークを強化し牽引する役目を引き続き担ってまいります。また、優れた舞台芸術を創造して都内各地や全国に還元し、また、地方劇場への企画協力や共同制作を通じて首都・東京を代表する劇場として牽引役を務めてまいります。	
	舞台芸術の共同制作・企画協力	優れた舞台芸術をより多くの観客へ提供するために、新国立劇場や地方の文化施設と積極的に共同制作や作品提供(企画協力)を実施  新進音楽家を起用したコンサート等の地方劇場向けの企画・協力を実施し連携の強化を図りながら演奏機会を創出
	教育プログラムを都内各地・地方へ還元	都内各地で開催している先駆的取組を、地方の文化施設とも連携・協力して全国に還元  ワークショップリーダー育成プログラムを通じて地方の教育プログラム牽引役を育成し地域へ還元
都内	都立文化施設として、区市町村の文化施設や教育機関と連携し、区市町村自治体では実現できない芸術文化に親しむ機会を創出してまいります。	
	区市町村・教育機関等との連携	・区市町村では実現不可能な舞台芸術の体験の機会を、自治体や教育機関、福祉機関等と連携してアウトリーチ等により創出すると共に、社会的な課題の解決の糸口となるようなニーズに対応したプログラムを各機関との協働により創造し提供する  <具体例> アウトリーチ・コンサート、アウトリーチ・ワークショップ、クリニック等 都内各地の保育園・幼稚園、小中学校、高校で開催 特別支援学校、高齢者施設、病院等で開催

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題2 [管理運営の基本方針] 2 国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)について

連携	連携の取組	展開例
都内	多摩・島しょ地域における取組み	<p>【鑑賞機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村教育機関と連携したコンサートの積極的な開催</li> <li>新進音楽家による島しょ地域へのアウトリーチコンサートの実施</li> </ul> <p>【体験機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>立川市等の公立文化施設や島しょ地域の自治体と連携して、0歳児から大人までが参加できるオリジナルワークショップを共催して提供</li> <li>教育機関と連携したワークショップの実施</li> </ul>
	都内全域でオーケストラコンサート	自治体と連携した、各地域における新進演奏家の演奏機会とプロオーケストラの演奏を聴く機会を創出する「フレッシュ名曲コンサート」や付随するミニコンサートの実施
財団	財団が一括管理するスケールメリットを活用し、音楽・舞台芸術を担う都立文化施設として、東京芸術劇場との役割を明確にして魅力的な事業を連携して展開するとともに、音楽施設と美術館・博物館という、異なったジャンルの芸術とのコラボレーションを強化し、魅力の相乗効果を図ります。	
	東京芸術劇場との多様な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ホールの特徴を生かした共通テーマを持つ公演を企画して、魅力の相乗効果を図る</li> <li>育成している「人材」を起用した主催事業を展開し活躍の機会を創出</li> <li>専門的な職員の技術の共有を図り、挑戦的な舞台芸術の実現に向けた協力体制を強化</li> <li>多角的な展開が必要な教育プログラムは2館が協働</li> <li>主催事業への職員視察を推奨し、特徴ある制作現場のノウハウを共有</li> <li>各施設の予約するシステムを共有し、それぞれのホール利用者に斡旋することを検討。サービス向上につとめ稼働率の相乗効果を図る</li> </ul>
	子供の文化施設デビューを応援する事業	子供たちの文化施設デビューを応援する都美との連携企画「あいうえの冒険隊」や主催するミュージックワークショップ等の都立各文化施設が連携した事業を通じて子供たちが文化芸術に親しむ機会を多角的に創出 Welcome Youth事業を活用した、子供や青少年に向けた舞台芸術の鑑賞機会を都の教育機関と連携して実施
	教育・社会包摂プログラムの共同制作	次代を担う子供達から高齢者、障害者などの社会的弱者等のあらゆる人々が参加できる教育・社会包摂プログラムを連携して実施し、多様な芸術の可能性を共に展開
	パートナーシップ事業(大学等)	財団のパートナーシップ事業を活用し、都内及び近隣の大学等を対象として若者の芸術文化に親しむ機会を創出
	人材育成×様々な芸術文化	新進アーティスト起用＝人材育成「まちなかコンサート」の各文化施設開催等によるジャンルの異なる芸術を繋げる役割を担う
	広報	各館の人材育成を総合的にアピールする取組の実施 広報紙＝新進デザイナー×新進アーティスト
地域	上野地区の多彩な芸術文化の発展を担う「文化の杜」新構想への積極的な取組を通じて、地域の多角的発展に寄与してまいります。	
	地域振興のイベント連携	上野地区の多彩なイベントに参画し、音楽芸術や建築物としての魅力を通じて地域の振興に積極的に寄与
	教育プログラムの連携	藝大や上野学園などの近隣の大学や文化施設と協働し連携教育プログラムの発信拠点として機能
事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団	

## 提案課題2 [管理運営の基本方針] 2 国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)について

## 2.具体的な取組と展開

## (1) コンサートやオペラ等の舞台芸術の共同制作／巡回公演

令和元年度より、東京都と共催し、新国立劇場や海外の劇場との共同制作として「オペラ夏の祭典」の2作品のオペラを、海外ではザルツブルクとドレスデン、国内では札幌や滋賀など複数の劇場で上演しました。これらの作品は、国内では近年稀にみる規模の、国際的な発信力の高い作品として注目を集めています。

それに先立ち、平成30年度には、東京文化会館と新国立劇場は連携・協力に関する協定書を締結しています。都と国を代表する施設間の連携を通じ、今後の活発な連携による優れた舞台芸術の創造が期待されています。

また、ニューヨークにおける国際共同制作の実現、創造した舞台芸術やコンサートの国内における巡回公演、実演家団体との協働による巡回公演の実現など、国内外で構築したネットワークはますます拡大し、全国規模の舞台芸術の共同制作の拠点として実績をあげてまいりました。

今後も、構築したネットワークを活用した国際共同制作を継続して実施していくことを目指しています。更に、教育機関との連携した特別支援学校への鑑賞機会の提供や、都内文化施設の牽引役として、都内全域における鑑賞機会の一層の創出に努めてまいります。

## (2) 教育普及・社会包摂における連携

国際的な連携に大きな一歩を踏み出して間もない「教育普及の拠点」としての役割を担う取組みに、国内外から大きな注目を集めています。

また、社会的な課題の解決の糸口となるべく、専門的なトレーニングを実施し、福祉機関等とも連携しながら、障害者や高齢者等へプログラムの制作・提供を開始し、その検証に取り組み始めています。

このような長期的な視野に立ち推進すべき事業については、海外のネットワークの活用はもとより、育んだノウハウを都内文化施設、教育機関、都外の文化施設との連携を通じて全国規模で共有し、拡散してまいります。

## (3) 人材育成における連携

「東京音楽コンクール」を通じて多くの新進音楽家を輩出してまいりました。今後は、コンクールの国際化を発展させ、特にアジア圏の音楽大学等と連携しながら、日本と海外の音楽家が切磋琢磨して成長していく機会を創出してまいります。

また、海外における活躍の機会創出にも努め、世界各地での活躍の場の創出や舞台芸術公演における海外での演奏機会の創出を推進してまいります。

さらに、海外から講師を招聘し、アーティストとしてのキャリアアップに必要なノウハウを学ぶ機会も創出してまいります。

ワークショップ・リーダーの育成プログラムには、都内のみならず、全国各地から参加者が集まります。先駆的な取組を行う海外の劇場や団体と連携して多様なトレーニングを実施しています。培ったノウハウは都内のみならず地方へも還元されていますが、今後は更に連携を進めて、双方のプログラムの共有や、人材の交流の機会を創出し、幅広くプログラムが拡散していくことを目指してまいります。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針**

**1. 事業の実施方針**

**(1) 鑑賞～創造発信**

**芸術文化の振興～継続的な共同制作の実施へ**

海外の一流劇場によるオペラ・バレエ公演等の鑑賞機会の提供や、舞台芸術の振興に繋がる新しく次世代にも魅力を伝える多様な事業を提案します。

また、文化施設を牽引する「舞台芸術の殿堂」の役割として、オペラの共同制作は地方の文化施設から常に求められています。オリンピックに華を飾る「オペラ夏の祭典」では、新国立劇場や海外の劇場と共同制作し、地方の複数の文化施設とも連携してオペラ2作品の制作を実現し、大きな注目を集めています。

この機会をきっかけとして、培ったノウハウを継承しながら、オリンピックのレガシーとして大ホール規模のオペラや様々な舞台芸術を継続的に共同制作し、全国規模で展開し、芸術文化の振興に寄与してまいります。

**(2) 教育普及・社会包摂**

**あらゆる人々の鑑賞、参加、交流機会の創出～社会的課題への取組**

0歳児、児童、若者から高齢者、障害者など、世代や環境が異なるあらゆる人々に向けた多様なプログラムを展開し、音楽芸術をツールとした鑑賞、参加、交流する機会を創出していきます。

**(3) 人材育成**

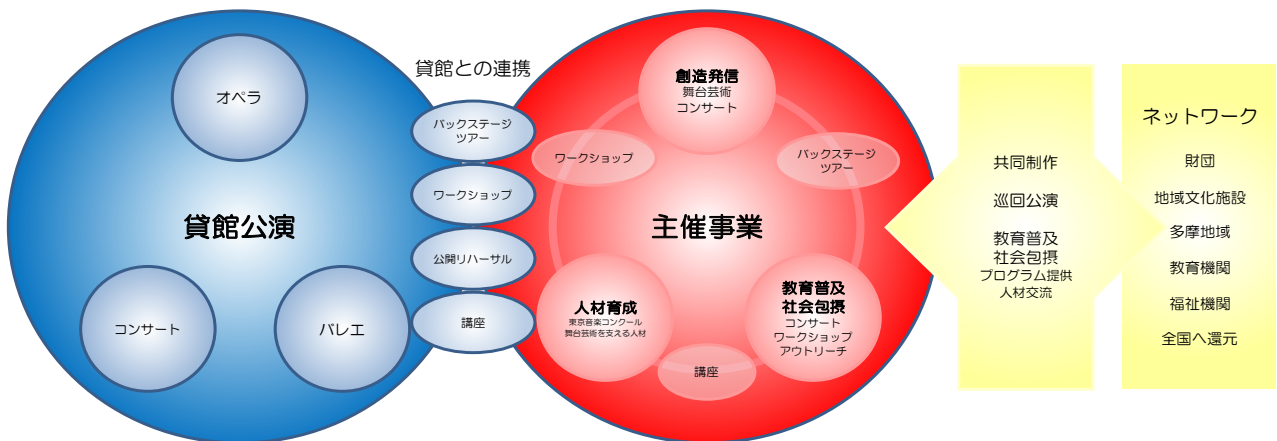
**若手の活躍機会の創出**

優れた若い人材の学ぶ機会や活躍する機会を掴む事業を展開します。  
若手が活躍する鑑賞型・体験型の事業を幅広く展開します。  
また、大学等との連携（パートナーシップ事業）等を通じて若年層の劇場に足を運ぶ機会を創出します。

**(4) ネットワークの活用**

施設を利用する実演家団体等との連携や、国内外のネットワークを強化し魅力ある事業を幅広く展開します。  
新進若手の活躍する手段としてもネットワークを活用し、23区から多摩地域へ、そして地方とも連携を進め全国に還元します。

**イメージ**



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について**  
**(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針**

**2. あらゆる世代、様々な個性を有する人々に集い親しまれる劇場へ ～社会包摂への取組**

**(1) 基本的な考え方**

**1 劇場が「参加交流」できる「広場」となり、「社会包摂」のための「居場所」となる**

劇場法の施行や文化芸術振興基本法の改正を機に、劇場のあり方・求められる役割が変わってきています。公立文化施設には、文化芸術の振興、文化芸術の力を活用した社会的課題解決に向けて、積極的な自主事業の展開が求められています。

こうした社会の動向を踏まえ、今後6年間の当館の目指す姿は次のとおりです。

**より多くの人々に集い親しまれる劇場へ～「音楽・舞台芸術の殿堂」＝響きあう感動をあらゆる人々と～**

「音楽・舞台芸術の殿堂」との評価をいただいてきた当館は、引き続き、その中核的価値である高水準の舞台芸術の鑑賞機会の提供に尽力するとともに、音楽・舞台芸術の素晴らしさをより多くの方々に味わっていただけるよう、「音楽への入口体験から本格鑑賞・演奏への橋渡し」をするとともに、乳幼児から青少年、子育て世代、高齢者までのあらゆる世代、障害者、外国人等、様々な個性を有する方々にとって「参加交流」できる「広場」となり「社会包摂」のための「居場所」となることを目指していきます。

**2 参加交流の促進・社会的課題に対応したプログラムの充実**

こうした姿を目指し、これまでの伝統を守りつつ、さらに進化していくため、教育普及・社会包摂事業に力を入れ、参加交流を促進し社会的課題に対応したプログラムの充実を進めます。

**3 全国的な社会包摂への取組の牽引役を目指す**

平成25年度に開始した国際連携によるワークショップを柱事業へと成長させ、国内の先進劇場との連携や取組みを始める劇場への支援を行い、また、RESEOを活用し、海外劇場とのネットワークも構築しながら、全国的な社会包摂への取組みを牽引する館となれるよう、取り組んでまいります。

**(2) 取組の方向性**

- 音楽をツールとした様々なプログラムにより社会との関わりを持つ機会を創出
- あらゆる世代、様々な個性や不安を有する人々、誰もが集い交流できる劇場に
- 劇場に足を運ばない方々にも音楽の力を

様々な  
参加交流

**1 気軽に参加し、きっかけをつくる ～単発プログラム**

- ・ 音楽・楽器に関する知識や経験がなくても気軽に参加し楽しめるグループワーク
- ・ 気軽に1度参加し、「社会性」・「コミュニケーション」・「自己肯定」のきっかけを作る

**2 参加交流を深めコミュニティの形成へ ～長期プログラム**

- ・ 一定期間継続的にグループワークを行い、制作し成果発表等を行う
- ・ 達成感・自己肯定感を感じていただくとともに、交流を深め、居場所となる「コミュニティ」の形成につなげる

**3 課題別のプログラムとソーシャルミックス**

- ・ 社会的課題に対応したプログラムは、属性や個性に応じて関係機関と連携し、オーダーメイドのきめ細かな対応が必要であるため、ターゲットを絞り効果的に展開する
- ・ 社会性・社会包摂の観点からは、様々な人々が参加交流することが望ましく、対象をオープンにしたプログラムとともに、課題別プログラム参加者間の交流等を図る

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

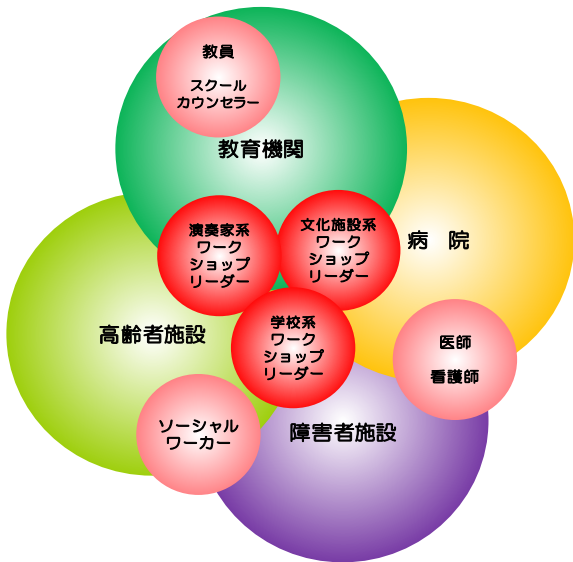
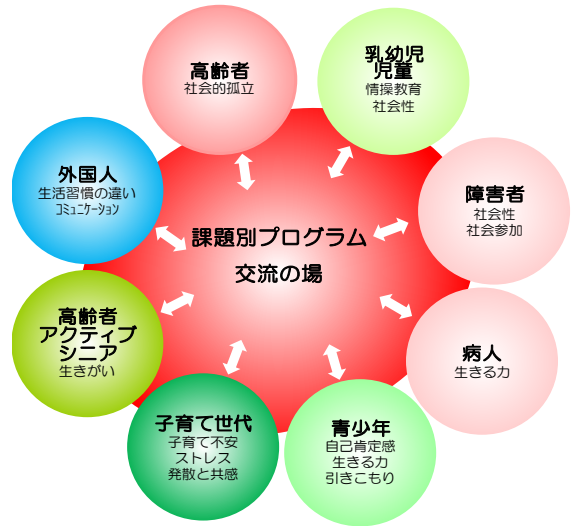
提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

4 アウトリーチプログラム

- ・ 教育機関や福祉施設とも連携した積極的なアウトリーチを実施し、幅広い層の参加から社会との繋がりを創出
- ・ 劇場に足を運べない人にも音楽をツールとした楽しさや生きる喜びを感じるひとときを届ける

5 ワークショップリーダー等、担い手の交流

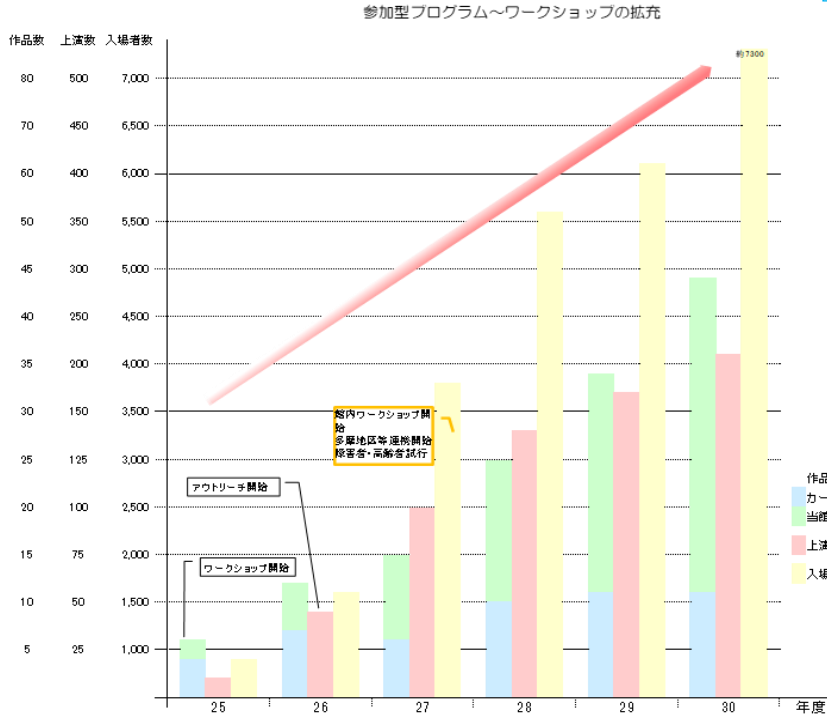
- ・ 様々な取組を通じて、次代の担い手たちが集う、交流の場所となる
- ・ 交流を通じて、新たな繋がりや取組の創出へ



(3) 実績と今後

平成25年度に開始した参加型プログラムは、7年を経て、参加者は顕著に増加しており、確かなニーズを感じています。

今後の6年間、館の中核を担う柱として発展させていきます。



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団



提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

3. 事業体系

(1) 考え方

東京文化会館のミッションに基づき、一流オペラやバレエの積極的な誘致による質の高い鑑賞機会の創出に加え、連携による普及事業の充実を図ります。

また、自主事業では劇場法や文化ビジョンを踏まえた芸術文化の振興に積極的に貢献していくため、「創造発信」「教育普及・社会包摂」「人材育成」を3つの柱として自主事業を展開してまいります。多様な事業には育成した人材を起用し、活躍する機会を創出します。これらの事業を集中的に開催する時期を「フェスティバル」として展開し、地域の活性化にも寄与してまいります。

事業体系		展開例
貸館	オペラ バレエ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京文化会館ならではの、海外の著名劇場公演によるオペラやバレエ鑑賞の機会の創出</li> <li>●公益性の高い事業連携による普及事業の充実</li> <li>●幅広いジャンルの公演の積極的な誘致～若年層の来館機会の創出へ</li> </ul>
	舞台芸術 シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京2020東京大会のレガシーとして国際的に発信力のあるオペラを新国立劇場と継続的に共同制作を実施</li> <li>●演劇、舞踊、映像、伝統芸能など、異なるジャンルとコラボレーションした新たな舞台芸術を創造し発信し、多様な観客が施設に足を運ぶ機会を創出</li> <li>●国際連携によるオペラや海外で活躍する邦人の作品を初演するなど先進的な試みに挑戦</li> <li>●小ホールでのオペラの創造を始めとしたホールの活用や他の文化施設や地方と連携</li> <li>●子供や若い世代が楽しめる質の高い舞台芸術を創造しあらゆる世代の鑑賞機会を創出</li> </ul>
創造発信	コンサート シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多ジャンルの音楽界トップアーティストによる演奏を奇跡の音響と言われる小ホールで味わう贅沢なひと時を手頃な料金で提供</li> <li>●都響と連携したのコンサートを開催</li> <li>●オリジナル企画のリサイタル、室内楽公演を制作し新進演奏家の演奏機会を創出</li> </ul>
	コンサート シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夏休み子ども音楽会を基本に、全館を活用した誰もが音楽芸術に親しむ機会を創出</li> <li>●0歳児から障害者までを対象とした上質なコンサートを企画制作</li> <li>●新進演奏家によるクラシック初心者向けのコンサートを企画制作</li> <li>●教育機関や福祉機関、他の文化施設と連携したアウトリーチを実施</li> </ul>
教育普及・社会包摂	ワークショップ シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海外の先駆的な劇場等と連携し、0歳児から高齢者まで幅広い対象に向けた多様な参加型プログラムを展開</li> <li>●障害者や社会的に孤立した状況にある人々などの社会的な包摂を図り、音楽・舞台の喜びの体験や芸術家との直接の触れあい等を伴うワークショップを実施</li> <li>●舞台芸術創造に直接関わるグループワークショップにより舞台芸術の理解を深め、参加者間のコミュニケーション能力も育む</li> <li>●教育機関や福祉施設等とも連携した積極的なアウトリーチ活動を継続して実施し、幅広い層に芸術に触れる機会を提供</li> <li>●様々な対象に向けた事業の効果を調査・研究し、その成果を広く発信</li> </ul>
	普及プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設を活用した都響連携の無料コンサート、舞台の裏側、建築物としての魅力を伝える事業による認知度を高める取組みを実施</li> <li>●パートナーシップ事業(大学等)を活用し若年層の芸術文化体験の機会を創出</li> <li>●音楽資料室ではレファレンスや資料を活用した講座等を積極的に実施し、認知度の向上と利用者の増加を図る</li> </ul>
人材育成	新進音楽家育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●才能あふれる実力を備えた若手音楽家を発掘するため、ピアノ・弦楽・木管・金管・声楽の5部門で、東京音楽コンクールを実施</li> <li>●特にアジアに向けた国際化を更に推進</li> <li>●更なる知名度アップと水準の向上を図る＝新進音楽家の登竜門として定着へ</li> <li>●優勝者コンサートをはじめ、様々なコンサートへの出演機会を提供し、リサイタルへの支援、マスタークラスの実施等、継続的な育成・支援を拡充</li> <li>●海外での演奏機会の創出や、海外との交流機会を充実</li> </ul>
	舞台芸術を支える 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰もが芸術に親しむ機会を創出するための取組として実施しているワークショップの担い手を発掘・育成し、活躍する場を提供</li> <li>●教育機関からのインターン受け入れ</li> <li>●舞台芸術のワークショップを通じて、企画制作、舞台美術・照明・音響などホール運営を支える人材を育成</li> </ul>

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針**

**(2) 目標及び指定管理期間の実施方針**

私たちは、平成30年度より5年間の「文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業」に採択され全国の文化施設を牽引する16施設の1施設として、多様な事業展開を行っています。  
令和3年度からの6年間は、輝かしい**伝統を継承**しながら、培った制作力やネットワークを活用した**優れたオペラ作品や新しい舞台芸術を企画・制作**し、あらゆる人々が集う**真の劇場**として役割を果たしてまいります。  
東京2020大会の文化プログラム「オペラ夏の祭典」等を積極的に展開し、その成果をレガシーとして継承してまいります。  
「創造発信」「教育普及・社会包摂」「人材育成」の三本柱を軸として、「人材育成」で輩出された人材を「教育普及・社会包摂」「創造発信」で活用しながら多様な事業を展開し、常に時代のニーズに合わせて拡充してまいります。  
他を牽引する首都・東京を代表する舞台芸術文化の拠点として国内外にアピールしてまいります。

**次期6年間の新規・拡充提案**

創造発信	ポイント1	<b>培った制作力を活用して舞台芸術を創造発信→鑑賞機会を拡充</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アートフェスティバル(仮称)の核として <b>レガシーオペラ (オペラ夏の祭典) の新規開催</b> *首都東京のステータスの向上に寄与</li> <li>・新国立劇場や海外の劇場と連携した世界レベルの発信力のあるオペラの企画・制作</li> <li>・青少年向けに廉価な価格帯を設定／一流の舞台芸術を鑑賞する機会を提供</li> <li>・特にアジアからの富裕層に向けた、旅行会社等との提携による観客の招致とインバウンド効果の創出</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>開館60周年記念事業の実施</b></li> <li>・オペラ第1弾【国際共同制作】「Only the Sound Remains」～能「経政」「羽衣」より 東京文化会館、カタルーニャ音楽堂(バルセロナ)、タンペレホール(フィンランド)等で上演予定</li> <li>・オペラ第2弾【国際共同制作】芥川龍之介原作 室内オペラ 東京文化会館、ニューヨーク等で上演予定</li> <li>・多彩なフェスティバル記念事業を実施(ガラコンサート、ワークショップ、地域連携のイベント)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>Welcome Youth舞台芸術(仮)を新規展開</b></li> <li>・高い芸術性を担保した舞台芸術を新たに児童や青少年向けに創造。次代を担う子供達の舞台芸術鑑賞の機会を創出。</li> </ul>	
教育普及・社会包摂	ポイント2	<b>テクノロジーを活用して多様な人々の参加・鑑賞機会を拡充</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>Workshop Workshop!</b></li> <li>・5G等によるタブレットやスマートフォン等を活用した来場困難者に向けた音楽芸術体験の機会を創出</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>ライブビューイングの実施</b></li> <li>・誰でも観られる本格オペラ公演を館外の巨大モニター鑑賞</li> <li>■テクノロジーを利用した<b>屋外ミニオペラ</b></li> </ul>	
人材育成	ポイント3	<b>踏み込んだ社会包摂事業展開</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>Convivial Projectの立上げ</b>…推進強化 (コンビビアル・プロジェクト:共に生きるを喜びプロジェクト …2020 on stage &amp; legacyの発展事業)</li> <li>*福祉施設等と連携した超高齢社会に向けた講座やトレーニングの実施</li> <li>・認知症やアクティブシニア等、対象ごとに学ぶ機会を創出</li> <li>・専門家や大学等との連携による調査・研究の推進と発信</li> </ul>	
人材育成	ポイント4	<b>ネットワークを活用した国際化の推進</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>東京音楽コンクール</b></li> <li>・新進音楽家の発掘・育成、支援</li> <li>・国際化の推進</li> <li>■<b>新進音楽家の国際キャリアアップ支援</b></li> <li>・国際連携による入賞者の演奏機会やキルアップ機会の創出 海外の音楽祭への出演機会の創出や一流の音楽家によるマスタークラスの実施等を開催</li> <li>■<b>ワークショップリーダーの研鑽・活躍機会</b></li> <li>・国際連携によるキルアップ機会と国内連携における活躍の機会の拡大</li> </ul>	
	<p>事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団</p>	

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

#### 4. 創造発信事業の実施方針

東京文化会館が取り組むオリジナルの舞台芸術を発展するとともに、財団の推進する「Welcome Youth」事業に則った若手向けの舞台芸術の創造も開始し、以下の方針に沿って展開します。

##### (1) 新たな舞台芸術の創造～幅広い観客創出

他ジャンルとのコラボ等の新たな舞台芸術を創造して、大・小ホールを持つ魅力を新たな可能性とともに提案し、児童や若者等、次世代も視野にした幅広い観客の創出に繋がります。

特に児童や青少年を主な対象とした質の高い舞台芸術の創造に取り組み、「Welcome Youth 事業」を活用して、身近に親しむ機会を創出し、その成果を都内外の文化施設に還元します。

##### (2) 世界に発信する共同制作の継続実施

東京2020大会のレガシーとして、新国立劇場と継続してオペラを共同制作し、東京から世界に発信してまいります。

##### (3) 様々な舞台芸術の鑑賞・体験～多様な文化の共有

様々なジャンルの一流のアーティストを起用した鑑賞機会を創出し贅沢なひと時を公立文化施設ならではの廉価で提供するとともに、多様な文化を学ぶ機会とします。

##### (4) 若手の活躍機会を創出

新進アーティストが活躍する機会を創出し研鑽と魅力を多くの観客に伝える場とします。

##### (5) 様々な対象へのアプローチ

あらゆる人々を対象とした事業を展開し、人との繋がりを育て豊かな心を醸成します。

#### 5. 展開の視点

劇場法の施行以降、貸館公演では実施しにくい新しい舞台芸術の提案に取り組み、新たな観客へのアプローチを開始しています。

「オペラ夏の祭典」の開催によりコアなファンだけでなく一般の方々へも幅広くオペラへの関心が高まっています。このような機運を機会ととらえ、観客の高齢化や今後の貸館運営を鑑み、公立文化施設ならではの公益事業を以下のような視点で長期的に展開します。

国際・国内連携	世界的に注目されるハイレベルのオペラ作品を国内外と連携して企画・制作します。芸術性は高いが民間では実現し得ない、海外で注目を集める邦人アーティストの作品や日本の文豪による作品を題材としたオペラ、斬新な演出作品の紹介等を国内外の劇場等と連携して企画・制作します。また子供や青少年向けにも同様に作品を創造し提供します。
舞台芸術の魅力	「舞台芸術の殿堂」の役割として、オペラやバレエの魅力を広く周知するために積極的な自主事業を展開するだけでなく貸館主催者とも連携して幅広く発信していきます。
他・多ジャンルとのコラボレーション	既存の舞台芸術に捉われず、日本舞踊や能等の伝統芸能や映像等の様々なジャンルの舞台芸術を融合した新たな舞台芸術作品を創造し発信していきます。
「新しいクラシック」の提案	時代が求めるクラシック音楽のあり方を追求し、音楽を楽しむ観客の拡大に寄与します。
鑑賞機会の創出	子供から高齢者や障害者、クラシックになじみのない方からコアなクラシックファンまで、誰もが楽しめる上質なコンサートを幅広く企画制作し提供します。特に「奇跡の響」と称賛される小ホールでは民間では実現できない一流音楽家のコンサートを企画・提供し、都民が気軽に上質な音楽に親しむ機会を創出します。
事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

6. 展開例

内容	対象	展開例
	クラシックファン  多ジャンル芸術ファン  一般	○レガシーオペラ(仮称)の共同制作 <b>New!</b> ○舞台芸術創造事業 ・海外との連携作品の初演 ・伝統芸能(日本舞踊・能等)とのコラボ ・文豪シリーズ ・人形劇と現代音楽 ・映像とのコラボ 等 ○創遊・楽落らいぶ



人形劇×宮田大アンサンブル「SALOME/サロメ」

オペラ夏の祭典 Japan⇄Tokyo⇄World オペラ「トゥーランドット」



現代音楽と能「くちづけ」

オペラ初心者・児童・青少年・ファミリー

○オペラBOX ○Welcome Youth舞台芸術(仮) **New!**



平成30年度公演「トスカ」

「オペラBOX」より

「オペラをつくろう！」  
参加児童の合唱出演と  
工作作品を  
舞台装置の一部に活用



平成29年度公演  
「Help!! Help! グロポリンクスだ! ~エイリアン襲来~」



平成31年度公演「泣いた赤おに」

全国へ還元

○地域等連携事業 創造した作品を都内外の施設等と連携して各地で開催

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

児童からコアなファンまで楽しめる舞台芸術  
舞台芸術シリーズ

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針

内容	対象	展開例
子供から一般・音楽ファンも対象とした身近な音楽体験  <b>コンサートシリーズ</b>	クラシックファン 多ジャンルの音楽ファン 一般	○プラチナ・シリーズ ○シャイニング・シリーズ ○響の森コンサート



Music Program TOKYO  
Enjoy Concerts!

プラチナ・シリーズ

シャイニング・シリーズ

ポーロニヤ歌劇場 弦楽五重奏  
～東京音楽コンクール入賞者とともに



アクティブシニア 児童 一般/初心者
--------------------------

○上野deクラシック ・アクティブシニア向けの平日午前のコンサート ・ファミリー向けの休日や夏休みのコンサート ・19時からの1時間コンサート
--



事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針**

**7. 創造発信の事業内容(想定)**

		事業名	内容
創造発信	<b>舞台芸術シリーズ[既成の音楽ジャンルや表現形式に捉われず新たな可能性を追求した作品を創造]</b>		
		舞台芸術創造事業	○国際連携 海外で注目を集める邦人アーティストや日本を題材とした作品、斬新な演出作品の紹介等を海外の劇場等と連携して企画・制作 ○他・多ジャンルとのコラボレーション 既存の舞台芸術に捉われず、様々なジャンルの舞台芸術を融合した新たな舞台芸術作品を創造・発信
		レガシーオペラ(仮称)	オリンピック・パラリンピック文化プログラムのレガシーとして、2年ごとに新国立劇場と共同制作。世界をけん引する規模のオペラ作品を創造発信していく。 ・国際連携 ・地方文化施設、実演家団体との連携(予定)
		オペラBOX	小ホールの限られた空間を最大限に活用し、新しいオペラの可能性を探り幅広い層に向けた作品を企画制作し発信 ・東京音楽コンクール入賞者の演奏機会を創出 ・「オペラをつくろう!」と連携。
		創遊・楽落らいぶ	小ホールの限られた空間を最大限に活用した、音楽と落語のコラボレーション。 演奏、落語とのセッションの2部構成で創造する。
		地域等連携事業	都内外の文化施設と連携し、舞台芸術創造事業の地方文化施設における公演、子供達や高齢者等を対象としたワークショップ、若手アーティストの活躍の場の提供協力等を行う。
		Welcome Youth舞台芸術(仮称) (旧Jazz meets Classic)	子供や青少年でも楽しめる質の高い舞台芸術作品の鑑賞・体験機会を創出する。 オペラBOXや舞台芸術創造事業で制作している作品の子供や青少年向けの作品として再制作・新規制作し、ワークショップ、コンサート等を体験してきた児童やファミリー、青少年の新たな舞台芸術体験の機会を創出する。
	<b>コンサートシリーズ[クラシックを基軸とし多様な可能性を追求したコンサート]</b>		
		Enjoy Concerts! プラチナ・シリーズ	「奇跡の音響」と称される小ホールで、民間では実現できない一流アーティストによる珠玉のコンサートを企画・制作。贅沢なひとときを手頃な料金で提供
		Enjoy Concerts! シャイニング・アーティスト・シリーズ	東京音楽コンクール入賞者等の新進音楽家による上質なクラシックコンサート。若手アーティストの活躍の機会を創出
	響の森	サマーコンサート	優れたオーケストラのコンサートを、手頃な価格で提供。音楽監督プロデュースにより開催テーマを定め、都響によるコンサートを夏、冬のシーズンで実施
		ニューイヤーコンサート	
入賞者シリーズ	上野deクラシック	○東京音楽コンクール入賞者を起用 平日の午前リサイタル…入賞者デビューコンサート デビュー後の入賞者が活躍する機会…その他のコンサート【新企画】  ・リサイタル: 解説付きの名曲コンサート 1時間公演 550円(午前6回) 1100円(夜2回) ・室内楽: 解説付きの名曲コンサート 1時間公演1100円(午前2回/夜1回) 2時間公演1650円(マチネ2回)	
<b>事業者名・団体名</b>		公益財団法人東京都歴史文化財団	

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(1) 魅力的な公演等の実施に向けた方針**

**7. 創造発信の事業内容(想定)**

・環境負荷の少ない持続可能な施設運営及び事業展開

・舞台芸術創造事業等の制作事業

制作した舞台芸術の装置の一部や衣裳を保管し、再演時の再利用に着手します。保管場所の確保を検討し、今後更なる環境負荷軽減を図ります。

・Welcome Youth舞台芸術事業の促進

・高品質な音楽舞台作品を提供する事業として、シアターデビュープログラム(2作品)を創作しています。

小学生及び中高生向けの舞台作品を年にそれぞれ1作品上演しており、小学生(10歳)と中高生(15歳)の招待枠を設定し、劇場体験を促進します。学校単位でも事前のアウトリーチを実施し、きっかけづくりに繋げていきます。

・ダイバーシティ実現に向けた取組

・プラチナ・シリーズで「アイヌ音楽」のコンサートを実施。長期的に民族音楽週間の開催を検討し、ダイバーシティ実現に向けた観点からの事業実施にも積極的に取り組みます。島国日本における「人種」「民族」の理解促進に向け、コンサートでも「民族音楽」を取り上げます。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動**

**1. 実施方針**

「教育普及」活動とともに社会課題に対応する「社会包摂」事業については、財団の「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」の推進に向け、新たに「Convivial Project: コンビビアル…共に生きるを喜ぶ」を立ち上げ、以下の方針に沿って取り組みます。

**(1) 芸術文化をあらゆる人へ**

劇場のあるべき姿としてあらゆる人が芸術文化に触れ参加できる機会を提供することを大きな使命と考えます。

**(2) 人との繋がりや豊かな心を育む**

あらゆる人々の芸術文化を学び親しむ機会を創出し人との繋がりや豊かな心を育みます。

**(3) 社会的課題に対応した展開**

対象を明確にした教育普及事業を展開し、0歳から児童、青少年、子育て世代、高齢者、障害者等が多様な目的で集う劇場を目指します。

また、劇場に足を運ぶ機会のない児童や高齢者、障害者等に向けたアウトリーチを実施します。

多様な対象に向けた事業を調査・研究し、広く発信するとともに、民間等と連携したソフトの開発等を目指します。

**(4) 多様な連携～地域・劇場の活性化へ**

都立文化施設等と連携した教育普及事業の展開を通じて若年層の来館機会の創出に繋げ、長期的な視点で地域や劇場の活性化を図ります。

**(5) 若手の育成と活躍**

若手音楽家や、育成した教育プログラムの担い手である若手人材が活躍する機会を創出しより多くの人々の芸術文化に親しむ機会を創出しながら、若手人材の育成にも繋がります。

**2. 展開の視点**

最先端の教育プログラムや社会包摂プログラムを実施している海外や、教育機関、福祉施設、他の都立文化施設等と連携しながら、幅広い取組みを長期的な視点で展開していきます。

<b>海外連携</b>	海外とのネットワークを活用して最先端の教育プログラムを幅広く実践します。
<b>教育機関連携</b>	未就学児から大学生を対象とした多様な事業を教育機関と話し合いながらニーズに合った事業を企画・制作し提供します。
<b>社会的課題への対応</b>	福祉施設等と連携し、高齢者や障害者等を対象とした鑑賞型、体験・参加型事業を企画・制作し、音楽芸術をツールとした豊かな心の醸成の機会を幅広く提供します。それぞれの対象に合わせて対象機関と相談しながら一緒にオリジナルの作品を制作します。
<b>施設を活用</b>	誰もが気軽に立ち寄り、楽しいひと時を送ることができる「劇場」として、施設を最大限に活用します。
<b>都立文化施設等、多様な連携</b>	子供たちの文化施設デビューを応援し連携して実施する「あいうえの冒険隊」や大学等とのパートナーシップ事業、施設内に同居する東京都交響楽団や近隣の文化施設等との連携等の多様な教育普及事業の展開により、若年層の舞台芸術体験の機会を創出します。 人材育成を通じてアーティスト等とともに制作した鑑賞型、参加型教育普及プログラムを都内文化施設等に提供し、隅々まで届けることを目指した連携も推進します。

<b>事業者名・団体名</b>	公益財団法人東京都歴史文化財団
-----------------	-----------------



提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動

3. 展開例

内容	対象	展開例
	ファミリー	○夏休み子ども音楽会 ○3歳からの楽しいクラシック
	街を行くあらゆる人々	○まちなかコンサート ・～芸術の秋、音楽さんぽ～ ・連携企画 ○東京ネットワーク計画 ○地域等連携事業(上野文化の杜 音めぐり)
	未就学児・小学生・中学生・高校生	○アウトリーチ・コンサート

教育普及／コンサートシリーズ  
児童等を対象とした身近な音楽体験

3歳からの楽しいクラシック



アウトリーチコンサート

小学校体育館で金管五重奏



幼稚園でヴァイオリンデュオ

まちなかコンサート



板橋区との連携アウトリーチ

東京ネットワーク計画

0歳から大人	○Workshop Workshop！国際連携企画 <b>拡充</b> ・ワークショップ・フェスタ ・東京文化会館ミュージック・ワークショップ ○貸館連携事業 ・上野の森パレエホリデイ等の開催 貸館利用者と協働し、施設を幅広く紹介
未就学児・小学生・中学生・高校生	○アウトリーチ・ワークショップ ○オペラをつくろう！
高校生・大学生～	○オペラをつくろう！ ○ワークショップ×バックステージツアー
一般・専門家	○Talk & Lesson

教育普及／ワークショップシリーズ  
あらゆる人々が参加

オペラをつくろう！

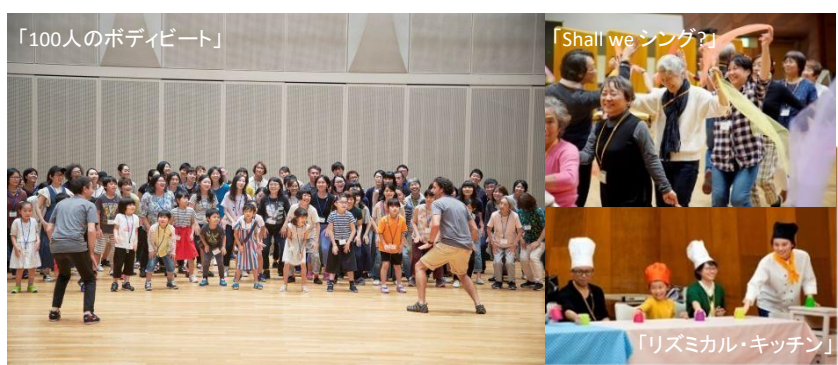


「オペラの登場人物になる！」

リハーサル

「工作」

ミュージックワークショップ



「100人のボディビート」

「Shall we シング？」

「リズムカル・キッチン」

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動

内容	対象	展開例
<p style="writing-mode: vertical-rl;">社会包摂／コンサート あらゆる人々が参加</p>	<p>障害者・高齢者等 あらゆる人々</p>	<p>○Workshop Workshop！Convivial Project* ・社会包摂にむけたオーケストラ公演 *2020 on stage &amp; legacyを発展。共に生きるを喜ぶプロジェクトとして推進強化</p> <p>特別支援学校 オーケストラ公演</p>
		
<p style="writing-mode: vertical-rl;">社会包摂／ワークショップシリーズ あらゆる人々が参加</p>	<p>アクティブシニア  高齢者・障害者等</p>	<p>○Workshop Workshop！国際連携企画 ・ワークショップ・フェスタ ・東京文化会館ミュージック・ワークショップ ○Workshop Workshop！Convivial Project <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New!</span> 高齢者施設・特別支援学校・病院等訪問 ・歌や身体、楽器を使ったリズム等による体験型ワークショップの出張訪問</p>
	<p>一般・専門家</p>	<p>Workshop Workshop！Convivial Project 啓発／発信 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New!</span> ・フォーラム ・効果検証（調査研究） ・トレーニング</p>
	<p>ロンドン交響楽団の教育プログラム「Discovery」</p>  <p>フォーラム</p>  <p>特別支援学校ワークショップ</p>  <p>ロイヤルバレエ団による障害者福祉院向けワークショップ</p>  <p>北特別支援学校におけるワークショップ</p>  <p>「社会包摂×アート」音楽×高齢社会</p> 	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">普及プログラム 施設全体を紹介</p>	<p>一般（初心者、クラシック愛好者）</p>	<p>○バック・ステージ・ツアー ○ティータイムコンサート ○公開リハーサル ○貸館連携事業</p>
	<p>一般・専門家</p>	<p>○音楽資料室におけるプログラム ・レファレンス ・各種講座の開催（生涯学習・学生向け等） ・校外学習の受入</p>
	<p>バック・ステージ・ツアー</p>  <p>ティータイムコンサート</p>  <p>上野の森バレエホリデイ</p> 	
<p>事業者名・団体名</p>	<p>公益財団法人東京都歴史文化財団</p>	

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動

4. 教育普及の事業内容(想定)

事業名		内容
教育普及	コンサートシリーズ	
	夏休み子ども音楽会 《上野の森 文化探検》	夏休み期間中に上野公園各文化施設や朝光まちづくり推進会議と連携し(無料入場・割引等)ファミリーを主な対象とした観覧付きのオーケストラコンサートを開催。小ホールなどの会場も使用しオープンハウスとして多様な舞台芸術を体験する機会を提供する。コンサートやワークショップ、音楽資料室でのレクチャー等を実施して施設の魅力を紹介。
	MUSIC Enjoy Concerts! 3歳からの楽しいクラシック	未就学児を対象とした本格的なクラシックコンサート
	FESTIVAL Enjoy Concerts! まちなかコンサート～芸術の秋、音楽散歩～	都内の文化施設と連携して、芸術や音楽に親しみかかてる環境作りを旨とした地域に根ざした「まちなかコンサート」を開催。東京音楽コンクール入賞者を中心とした若手演奏家が出演し秋のフェスティバルの一環として実施。
	EDUCATION Enjoy Concerts! まちなかコンサート～運橋企画～	文化施設や様々な機関と連携して芸術や音楽に親しみかかてる環境作りを旨とした音楽コンクール入賞者等によるミニコンサートを開催。
	EDUCATION Music Education Program アウトリーチ・コンサート	教育機関等における新進演奏家による参加型コンサートの開催
	EDUCATION Workshop Workshop! ～東京ネットワーク計画～	地域とアーティスト/音楽芸術を結び取り ①都内文化施設との連携によるアウトリーチコンサートを通じた地域の活性化 ②文化施設間の連携による研修の機会の創出 ③文化施設と連携による新進アーティストの成果発表コンサート
	WORKSHOP Music Education Program オペラをつくらう! ～工作・登場人物になる～	①工作 ワークショップで作った作品がオペラの舞台に登場。舞台芸術として重要な役割を果たすものづくりに参加することで、子供たちの舞台芸術への関心を高める ②オペラの登場人物になる オペラ公演に向けて、プロの指揮者から歌・音楽・演技、舞台に立つマナーを楽しく学ぶ。年齢層に合わせた劇団が前進する過程の中で、ワークショップや協働性等のコミュニケーション能力も育成。 第一線で活躍する演奏家やプランナーと共にステージに立つ、貴重な機会を提供。 ③次代の舞台芸術を支える人材に 自主事業に比重が加わる企業を継続して実施し、参加する児童や家族が施設を通じて芸術を身近に感じる機会を創出し、次代を担う芸術家や観客になる。
	WORKSHOP Music Education Program アウトリーチ・ワークショップ	①クリニック: 学校行事等のコンサートを新進演奏家の楽器指導を受けながら創り上げて上演 ②ワークショップ: Workshop/Workshop制作作品やオリジナル作品を年齢に応じて授業の一環としてクラス単位、学校単位で実施。共に創り上げる行程を経てコミュニケーション能力の育成や、芸術を身近に感じる豊かな心身の育成に寄与 ③東京文化会館に行こう!: 学校の授業や地域との連携の一環として当館に招き、ワークショップ等を体験しながら施設の理解を深める。
	WORKSHOP Workshop Workshop! ～国際運橋企画～ ワークショップ	①0歳から高齢者まで 世界から注目集めている音楽施設「カーサ・ダ・ムジカ」と連携した「カーサ・ダ・ムジカ」で行われているワークショップや、東京文化会館オリジナルのワークショップを【夏】【秋】に集中的に「フェスタ」として開催 ②障害者など 障害者や社会的に孤立した状況にある人々が芸術文化に親しむ機会を創出するために先駆的に展開 ③連携 ・他の文化施設と連携した、0歳から高齢者等を対象とした参加型音楽ワークショップを開催 ・各施設が実施する教育プログラムを共同で制作し、多ジャンルとのコラボレーションによる様々な切り口の教育プログラムによる文化芸術を幅広く楽しむ企画を提案
WORKSHOP Workshop Workshop! ～国際運橋企画～ ワークショップ・フェスタ【夏】【秋】	ポルトガルで質の高い教育プログラムを実施し、世界から注目集めている音楽施設「カーサ・ダ・ムジカ」と連携し、「カーサ・ダ・ムジカ」で行われているワークショップや、東京文化会館オリジナルのワークショップを集中的に開催。0歳から高齢者、障害者などを対象とした社会的包摂も超える取組。	
WORKSHOP Workshop Workshop! ～国際運橋企画～ 東京文化会館ミュージック・ワークショップ<館内>	①東京文化会館内のワークショップ 東京文化会館で生まれたワークショップやカーサ・ダ・ムジカ作品アレンジ版を東京文化会館ワークショップリーダーにより館内で定期的に開催し、文化施設における人々の芸術を介した交流の機会を創出するとともにリーダーの活躍の機会を提供	
WORKSHOP Workshop Workshop! ～国際運橋企画～ 東京文化会館ミュージック・ワークショップ<館外>	①東京都内外で開催 館内や他の文化施設と連携した、0歳から高齢者、障害者など社会的包摂も超える取組の参加型音楽ワークショップ、定期的に開催し、文化施設における人々の芸術を介した交流の機会を創出していく。	
WORKSHOP Music Education Program Talk & Lesson	Enjoy Concerts等に出演するアーティスト等による参加型ワークショップや新進演奏家の研修の機会を提供	
賞格運橋手帳	大ホール利用者と共催しバレエの体験型ワークショップと児童を対象とした事業の開催等、利用者とタイアップして実施する公益事業全般。	
地域等運橋手帳	都内外の文化施設と連携し、舞台芸術創造事業の地方文化施設における公演、子供達や高齢者等を対象としたワークショップ、若手アーティストの活躍の場の提供協力等を行う。	
普及プログラム(初心者～クラシック愛好者向け)		
BACKSTAGE バックステージツアー	①バックステージツアー 舞台技術スタッフと連携したバックステージツアーや、建築としての施設案内を定期的に開催して舞台裏を紹介 舞台機構や照明・音響など舞台裏を巡ることでホールの魅力を伝え、ファンを拡大 ②建築ツアー 建築を学ぶ学生や専門家等に前川國男の建築物として施設を紹介	
公開リハーサル	都響と共催で定期演奏会の公開リハーサルを行い音楽愛好家の裾野拡大を図る	
ティータムコンサート	都響と連携しホワイエで昼下がりに無料のアンサンブル演奏会を開催し幅広く劇場に足を運ぶ機会を創出	
音楽資料室プログラム	日常的なレファレンス対応、学生の校外授業対応や、専門家による講座の開催等を通して音楽資料室を広くアピール	
社会包摂	コンサートシリーズ	
	WORKSHOP Workshop Workshop! Convivial Project 社会包摂に向けたオーケストラ公演	東京オーケストラ事業協同組合と連携した国内トップクラスのシンフォニーの公演の都内の特別支援学校等における出張公演の実施や、「リラックス・パフォーマンス」等による、障害のある人もない人も参加・鑑賞できるコンサート等を開催。
	WORKSHOP Workshop Workshop! Convivial Project 社会包摂に関わるワークショップ	障害や社会的ハンディキャップの有無に関わらず、あらゆる人々が鑑賞・参加・交流できる機会を提供するとともに、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わる環境を醸成する 東京文化会館ワークショップ・リーダーによるオリジナルワークショッププログラムを都内の特別支援学校や社会福祉施設、高齢者施設等において実施
	WORKSHOP Workshop Workshop! Convivial Project 社会包摂に関わるアーティスト等の育成と展開	アートが持つ「創造性」「協働性」「参加性」を活かし、社会的課題に向き合いながら、人々の生活の質(QOL)の向上や共生社会実現のための芸術文化振興に寄与する 国内外の先駆的な取組を行う団体等と連携してアーティストやワークショップ・リーダーの育成を行うと同時に、そのノウハウを活用した長期的な取組を展開
	WORKSHOP Workshop Workshop! Convivial Project 効果測定・検証	各プログラムの実施に関連し、専門機関や大学研究機関と連携し、その効果の検証や調査研究を行うことで、プログラムの改善とこれら取組むべき課題を議論する
WORKSHOP Workshop Workshop! Convivial Project 啓発・発信	各プログラムの実施に関連し、専門機関や大学研究機関と連携してその専門分野のシンポジウムや意見交換会などを開催すると共に、効果の検証や調査研究を発表する機会を創出し、国内外に向けて効果的に発信する	

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(2)教育普及活動

4. 教育普及の事業内容(想定)

・周辺地域との連携により魅力を高めていくような取組

上野の杜に所在する近隣美術館や博物館等と連携したコンサートを企画し、秋の「まちなかコンサート」の他、展示内容に即したコンサートを連携して実施します。

・芸術文化に関わる周辺人材の育成や社会的処方を行う人材育成に向けた取組

コンビビアルプロジェクト(プロフェッショナルトレーニング)では、「社会包摂につながるアート活動」を実践する上で、理解しておきたい事柄を整理するためのレクチャーや、プロの音楽家を対象にしたプロフェッショナル・トレーニングを実施し、芸術文化に関わる周辺人材の育成を行います。

また、東京ネットワーク計画では、若手アーティスト支援事業の一環として、若手音楽家活動支援セミナー(個人事業者として必要な税務セミナー等)を実施します。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3)人材の育成

## 1. 実施方針

財団の取り組むアーティスト支援の展開を踏まえ、新たに「新進音楽家の国際キャリアアップ支援」事業を立ち上げ、以下の方針に沿って取り組みます。

### (1) 優れた新進音楽家の発掘

優れた新進音楽家を発掘するとともに、東京から世界に発信し「芸術文化都市 東京」のステイタス向上に寄与します。

### (2) 舞台芸術を支える人材の育成

舞台芸術を下支えする専門人材を育成し、自主事業や地域、全国の文化施設の活性化に寄与します。

### (3) 若手の活躍機会の創出～グローバル化の推進

育成した人材が活躍する機会を創出する多様な事業を展開し、若手人材の研鑽の場を創出するとともに、より多くの人々が芸術文化に親しむ機会の創出に繋がります。

海外の劇場や音楽祭と連携し、国際的に活躍できる環境を整え、キャリアアップを支援します。

## 2. 展開の視点

人材の育成には、実践する場が数多くあることが重要と考えます。  
発掘、講座を実施するだけに留まらず、優れた人材が活躍できる事業を幅広く展開していきます。

### 新進音楽家

東京音楽コンクールの国際化を推進し、東京からアジアへ、そして世界へ羽ばたく新進音楽家を発掘し、オーケストラ共演やリサイタル、アンサンブルやアウトリーチ等の多様なプログラムに出演する機会を提供することにより育成していきます。

### 教育プログラムの牽引役

教育プログラムの牽引役であるワークショップリーダーがノウハウを学び、定期的なワークショップの開催やアウトリーチを通じて活躍する機会を創出します。海外の先駆的な劇場等のネットワークを活用し、今求められる人材を育成します。

### 舞台芸術を支える

多様化する公立文化施設の事業運営の次代の担い手として制作や舞台技術を学ぶ学生等に、実践する機会を提供し、机上では学べない経験を積み即戦力となる人材を育成します。

### 国際化の推進

海外のアーティストと演奏する機会を得ることは、活躍の場が広がるだけでなく芸術面、技術面のブラッシュアップにも繋がり、新進音楽家の成長を促します。海外とのネットワークを活用して、国際的なアーティストとして活躍する機会を創出します。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3)人材の育成

3. 展開例

内容	対象	展開例
	<p>新進音楽家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弦楽部門:15-30歳</li> <li>・ピアノ部門:-30歳</li> <li>・声楽部門:20-35歳</li> <li>・木管部門:18-30歳</li> <li>・金管部門:18-30歳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピアノ、弦楽、木管、金管、声楽の5部門の内3部門で楽器が混在</li> <li>○平成27年度より5部門中、隔年(木管・金管)、2年開催後1年休み(ピアノ、声楽、弦楽)の3部門で開催し国際化として展開</li> <li>○1次予選(小ホール:非公開)</li> <li>○2次予選(小ホール:公開)</li> <li>○本選(大ホール:オーケストラ伴奏、公開)</li> <li>○優勝者コンサート</li> <li>○フレッシュ名曲コンサート</li> <li>○入賞者支援リサイタル</li> <li>○自主事業(小ホールコンサート、アウトリーチ、オペラ)への出演</li> <li>○新進音楽家の国際キャリアアップ支援 <b>New!</b> 他</li> </ul>

東京音楽コンクールの開催  
新進音楽家育成

東京音楽コンクール  
小ホールにおけるリサイタル形式の2次審査



大ホールにおける本選はオーケストラとの共演



多様なアーティスト育成プログラムを実施



マスタークラスやワークショップの実施



若手アーティストのための  
キャリアデザインセミナー

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3)人材の育成

内容	対象	展開例
制作・ワークショップリーダー・舞台技術・プランナー	18歳以上 ・アーティスト (音楽家、ダンサーなど) ・教職員 ・学生 ・音楽ワークショップリーダーの活動に興味がある人	○Workshop Workshop! 国際連携企画 ワークショップリーダー育成プログラム (受講生、聴講生) <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">拡充</span>  ○Workshop Workshop! Convivial Project <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New!</span> 障害者や認知症の高齢者等に向けたワークショップ実施に必要なトレーニング・講座の開催
	18-25歳 ・大学生 ・舞台デザイン(装置、衣裳、照明)やアートマネジメントを専門に学んでいる人 ・舞台デザイナーや制作者を目指している人	○オペラをつくろう! ~舞台を学ぶ~
	・大学生・大学院生 ・アートマネジメントを専門に学んでいる人	○インターン受入

制作・ワークショップリーダー・舞台技術・プランナー

Workshop Workshop!  
~国際連携企画~  
ワークショップリーダー

優秀受講生のカーザ・ダ・ムジカ派遣研修を地元紙で紹介

CASA É EXEMPLO PARA O JAPÃO



日本各地から集う受講生



カーザ・ダ・ムジカ講師による指導



カーザ・ダ・ムジカ派遣研修の一環で  
認知症患者とのワークショップを体験

音楽家のためのプロフェッショナル・トレーニング  
英国ボーンマス交響楽団を迎えて



オペラをつくろう! 「舞台を学ぶ」  
舞台美術製作や照明スタッフとして、制作としてオペラ創りに参加



舞台美術家を目指す学生による小道具製作



制作を学ぶ学生

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3)人材の育成

4. 人材育成の事業内容(想定)

		事業名	内容
人材育成	<b>新進音楽家育成【東京音楽コンクールを開催し新進音楽家を発掘・育成・支援する】</b>		
	東京音楽コンクール	第1次予選(非公開審査)	○目的 芸術家としての自立を目指す可能性に富んだ新進音楽家を発掘し、育成・支援することを目的に東京音楽コンクールを平成15年より開催 ○部門 ピアノ、弦楽、木管、金管、声楽の5部門の内3部門で楽器が混在する特徴 平成27年度より5部門中、隔年(木管・金管)、2年開催後1年休み(ピアノ、声楽、弦楽)の3部門で開催 ○国際化に向けて展開～魅力ある招聘審査員～ ヨーロッパやアジアで活躍するアーティストを審査員として招聘し、海外へ繋がる魅力あるコンクールをアピールし、優れた新進演奏家を発掘 ○機会の創出 自主事業や財団の施設、都の文化施設の事業へ積極的に起用し、社会性を兼ね備えたアーティストへと育成 ○世界に羽ばたく コンクール招聘審査員や自主事業の国際連携を通じて、海外で演奏する機会創出を検討
		第2次予選(公開審査)	
		本選(公開審査) * オーケストラとの共演	
		優勝者コンサート	部門優勝者がオーケストラと共演する披露演奏会
		フレッシュ名曲コンサート	都内区市町村と共催し、地域のホールで入賞者が独奏者としてオーケストラと共演
		入賞者支援リサイタル	コンクール翌年度から5年間、入賞者が行うリサイタルを支援(館が共催、広報宣伝を行い、小ホールの使用料を減免する)
		新進音楽家の国際キャリアアップ支援(仮称)	ニューヨークのチェルシー音楽祭等を通して、海外における新進音楽家の演奏機会を創出するとともに、海外からも招聘し、交流・研鑽する機会を創出する
	<b>舞台芸術を支える人材育成【制作・ワークショップリーダー・舞台技術・プランナーなど舞台芸術を支える人材を育成する】</b>		
	M u s i c  P r o g r a m  T O K Y O	Workshop Workshop ! ～国際連携企画～ ワークショップリーダー育成プログラム	○目的 音楽や芸術に対する関心を高めながら自己表現能力やコミュニケーション能力を養い、また、現代社会が抱える問題解決の糸口となるようなワークショップを創作し、ワークショップ現場において参加者をリードするという重要な役割を担う人材の育成を目的として実施。発掘・育成・支援を伴う長期的な取組。 ○学ぶ カーザ・ダ・ムジカやイギリス等の先駆的な取組を行う劇場や実演家を招聘し、ノウハウを学ぶ機会を創出 優秀な受講者はカーザ・ダ・ムジカへの派遣研修を受講 ○創り、実践する 人材の育成には実践が不可欠と考え、学んだノウハウを実践するワークショップを企画し、数多くのファンリテーションを経験・実践する機会を提供。実践に繋げることでステップアップを図る ○東京文化会館ワークショップリーダーの育成 優れたワークショップリーダーを東京文化会館ワークショップリーダーと位置付け、研鑽する機会を提供。 ○他の文化施設や地域へも還元する機会を創出し、成長の相乗効果を狙う。 ○フォーラムの開催 先駆的な取組を行っているイギリスの劇場や実演家団体等との連携により、海外の実例を紹介しながら、日本の教育普及のあり方を学ぶ機会を創出
Music Education Program オペラをつくらう! ～舞台を学ぶ～		○舞台芸術の専門家を育成 机上では学ぶことのできないオペラ制作過程をプロのアーティストやスタッフと共に体験する機会を提供し、将来の舞台芸術の専門家を育成する。	
	インターンシップ	教育機関と連携し、大学等でアートマネジメントを学ぶ学生を積極的に受け入れ、職員の一員として丁寧に指導し、多様な実務の経験を通じて個々の適応性を見定め成長を促す。	
<b>事業者名・団体名</b>		公益財団法人東京都歴史文化財団	



**提案課題3 [事業に関する業務] 1 芸術文化の振興に関する事業について  
(3)人材の育成****4. 人材育成の事業内容(想定)****・芸術文化に関わる周辺人材の育成や社会的処方を行う人材育成に向けた取組**

・ワークショップリーダー育成…最先端の教育普及活動を行っている海外の音楽施設と連携し、音楽の喜びや楽しさを、新たな切り口で幅広い層に伝えるための専門人材を育成します。

・オペラをつくろう(制作・舞台)…舞台関連の専門的人材育成を目的とし、東京文化会館オペラBOXの制作現場で、主に18歳から25歳までを対象にプロフェッショナル人材の育成を図っています。

・文化施設への従事を希望する修士相当の学生インターンの受入を継続します。

**事業者名・団体名**

公益財団法人東京都歴史文化財団

### 提案課題3 [事業に関する業務] 3 調査研究の取組及び音楽資料室の運営について (2) 音楽資料室の運営

#### 1. 音楽資料室の運営方針

#### 資料、人、場所の三つの柱で過去から未来へ

音楽資料室は昭和36年の開館以来、全国でもめずらしい音楽専門図書館として活動をおこなってまいりました。クラシック音楽を中心として、オペラ・バレエなどの舞台芸術や邦楽、民族音楽を対象として資料を収集し、専門家や学生、一般の音楽愛好家から高い評価を得ています。

近年はデジタル技術を導入し、自宅から資料目録へアクセスしたり、開館以来の公演情報を入力したりすることも可能となり、非来館者へのサービスも充実させています。

国立情報学研究所の総合目録データベース事業に参加しており、全国の大学や公共図書館と連携し、全国レベルでの文化の発展に貢献しています。

<資料収集の基本方針>

- ・クラシック音楽の楽譜、音源(CD・LP)は、学問的価値の高いオリジナルのものを中心に収集する
- ・図書、雑誌は、音楽に関する幅広い分野から、研究の参考となるものを中心に収集する
- ・映像は舞台芸術(オペラ・バレエ)を中心に収集する
- ・東京文化会館の公演プログラムは、他館では収集できない独自の貴重資料として、正副2点ずつ全公演を収集する(公演記録を含む)

#### (1) 半世紀以上にわたり収集した貴重な資料を受け継ぎ、生かし、次の世代に継承します

クラシック音楽関係の音源(CD・LP)、楽譜、映像は充実した蔵書を誇っています。昭和期に収集したLPレコード3万枚や高価な全集楽譜等も他の図書館では利用できない資料として、多くの専門家に評価されています。

吹奏楽や合唱の資料収集にも力を入れており、次代を担う若い世代の音楽活動を支えます。

また一般に流通していない東京文化会館開館以来の公演プログラムを全て保存しており、現代日本の音楽文化の軌跡を語る上で欠くことのできない貴重な資料となっています。今後、資料の増加に伴う収蔵スペースの不足に対し収蔵場所の確保や楽譜・プログラムなど紙資料の劣化への対応など、かけがえのない貴重な資料を次世代に継承するため、必要な対応を都とともに図ってまいります。

#### (2) 中学生からシニアまで、学びの心を支えます

生涯学習の拠点の機能を持つ「場としての図書館」が求められている今日、視聴と閲覧それぞれのエリアを工夫し、快適な空間を提供します。

学生や若い世代の認知度を高め、パソコンやタブレットを利用して、音楽データベースや、現在世界中の図書館や団体が進めている楽譜アーカイブの利用を可能にします。

シニア向けサービスとして、パソコンを使用しない利用者にも配慮し、それぞれのニーズに合った利用方法を提案します。

経験を積み音楽資料に精通した職員を配置し、研究や学習を支援します。

#### (3) 音楽を愛するすべての人に

所蔵している資料をデジタル化し公開することで、いつでもどこからでもアクセス可能となり、芸術文化の発展に貢献することが可能となります。著作権保護期間満了の雑誌や寄贈写真などのデジタル化を検討します。また、現在情報のみの提供となっている東京文化会館の公演プログラムをデジタル化し公開することを計画し、日本のクラシック音楽受容の基礎資料としての活用を図ります。

現在公開中のインターネット目録を充実させ、一曲ごとの検索や多言語対応によりきめ細かい情報提供を行います。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

### 提案課題3 [事業に関する業務] 3 調査研究の取組及び音楽資料室の運営について (2) 音楽資料室の運営

#### 2. 運営体制

##### (1) 開室日及び時間

火曜日～土曜日 11:30～18:30(仮)

日、祝日 11:30～17:00(仮)

※ 試行により、曜日及び時間ごとの利用者数や利用目的などを調査し、現行の開室日及び時間について必要な検討・見直しを行っていきます。

##### (2) 休室日

毎週月曜日、館保守日、特別整理期間、年末年始

※ 図書整理等のため休室日を設けます。

##### (3) 運営体制

常勤、非常勤司書

司書は司書資格を有する者、または音楽専門教育を履修したものとし、専門性の高いサービスを行います。

#### 3. 提供するサービス

##### (1) 来館者へのサービス

半世紀に渡り収集し保存した資料を、利用者の求めに応じて迅速に提供し、音楽関係者、学生、一般の利用者など幅広いニーズに応えます。

###### ①レファレンスサービス

利用方法、資料の検索から音楽に関する専門的な質問まで、資料に精通した専門の職員が利用の手伝いを行います。

###### ②パート譜の貸出

都内で活動する中学、高校、大学や地域、職場などのアマチュアオーケストラ、吹奏楽団にパート譜の貸出を行います。パート譜は利用状況やリクエストに応じて充実させていく方針です。

###### ③コピーサービス

教育、文化芸術の発展に与するため、権利者の権利に配慮しながらコピーサービスを行います。著作権法を遵守するための情報収集や職員教育を積極的に行います。

##### (2) 非来館者へのサービス

①インターネットを利用した目録検索サービスのデータをさらに充実させ、利用者の利便性を高めます。

②館報、ウェブサイト、SNSを通してクラシック音楽のポータルサイトとしての情報発信を行います。

③アマチュアの演奏家や団体を支援するため、チラシの掲示・配布などに協力します。

##### (3) 音楽資料の収集・提供

①クラシック音楽、民族音楽、邦楽に関する資料(図書、雑誌、楽譜、音源、映像)の保存、充実につとめます。

②独自資料である東京文化会館の全公演プログラムの保存、充実につとめます。

③著作権の消滅した雑誌や新聞記事のデジタル・アーカイブ化を検討します。

④デジタル化した辻修氏寄贈の写真の利用をはかり、日本洋楽史の研究に貢献します。

##### (4) 他の機関との連携協力

・ 国立情報学研究所の総合目録データベース事業への参加を継続し、大学図書館との連携・協力を行います。

・ 国立国会図書館レファレンス協同データベースで当室のレファレンス事例を公開し、全国の図書館と協力体制を構築します。

・ 全国の公共図書館からの音楽資料に関する照会に応じるなど、専門図書館として他館に協力します。

#### 4. 今後の取組

・ 貴重な音楽資料を持つ音楽資料室をより多くの都民の方にご利用いただくため、音楽に関連した講演会の実施など、音楽資料室の認知度を高める取組を実施します。

・ 所蔵資料の電子化を図り、貴重な資料の劣化を防ぐと共に、来室しなくても音楽資料が閲覧できるよう、都民の調査研究活動を支援する環境を整えます。

・ ICタグのシステムを導入し、貴重な所蔵資料の管理のデジタル化を推進し、利便性の向上と管理の徹底を図ります。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 3 調査研究の取組及び音楽資料室の運営について  
(2) 音楽資料室の運営**

○開館当初より運営する音楽資料室に所蔵する貴重な資料は、専門家はもとより、音楽ファンや学生たち、アマチュアの愛好家等、幅広く活用いただいています。

今後は、DX化を推進し、所蔵する13万点以上に及ぶ資料へのアクセスの快適化を図るとともに、広報活動の活発化や資料室ならではの事業を展開し、視聴スペースを時代のニーズに対応できるようシステムティックに改善する等、より広い層の活用を目指していきます。

○音楽資料室からのお知らせ(広報)として、エントランスロビーに音楽資料室展示コーナーを設置し、予め設定したテーマの資料展示(2、3か月で展示替)を継続して実施します。

○東京文化会館メンバーズに向けて、メールマガジンを月2回配信し、音楽資料室に関するタイムリーな情報を継続して発信します。

**事業者名・団体名**

公益財団法人東京都歴史文化財団

**提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて**  
**(1) 広報の充実**

**1. 実施方針**

広報は東京文化会館が持つ音楽・舞台芸術の発信拠点としてのブランドイメージをさらに向上、確立させていく上で、極めて重要な業務と考えます。

財団全体での戦略的プロモーションの取組に沿って、東京文化会館の認知度をさらに高め、一人でも多くの方々に来館していただけるよう、館独自の広報活動を強化していきます。

また、主催事業をはじめ貸館公演の券売強化につながるよう宣伝活動についても積極的に取り組んでいきます。

**～伝統と革新～**

**館のイメージ向上と実施事業のPRを基軸に、東京都や他の都立文化施設等と連携した広報活動を展開**

**(1) 東京文化会館の認知度を高める**

- 舞台芸術の殿堂、発信拠点としてのブランドを効果的、効率的に展開します。
- 東京文化会館の魅力ハードとソフトの両面から発信し、館自体の認知度を高めます。
- 若い世代への情報発信を強化し、若年層の集客力を向上させます。
- 高齢者や障害を持つ人、外国人をはじめ、あらゆる人々へ当館の活動を発信していきます。
- 上野地域の文化施設や教育機関、商店会、観光連盟等と連携し、「文化の杜」上野を国内外へアピールしていきます。
- テーマやコンセプトを共有した公演やイベントを、上野地域の多様な主体と連携して取り組みます。

**(2) 実施事業の広報・PR**

- 実施事業ごとにターゲット、メディアをセグメントした情報発信を行います。
- 財団のネットワークを生かし、都内、国内、国外に向けての発信を強化します。

**(3) 東京都・財団他施設等との連携**

- 東京都や他の都立文化施設等と連携して、効率的でスケールメリットを活かした広報を展開します。

**2. 具体的な取組**

情報発信方法	主な手法
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館ホームページを情報発信の基盤として充実・強化し、訴求力のあるツールとなるよう適宜改善を図る。</li> <li>→多言語化対応(英語、中国語、韓国語)等、ユニバーサルデザイン化の強化・充実</li> <li>→公演情報や主催事業情報の発信強化、コンテンツの充実化</li> </ul>
SNS等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITメディアの特長を生かし、SNS等を活用し情報を効果的に拡散し、事業内容の周知を図る。</li> <li>→X(旧 Twitter)やYouTubeチャンネル等、時代に即したツール展開を強化する。</li> </ul>
メールマガジン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジンの内容充実化、配信数増加を図るとともに、タイムリーな情報を提供する。</li> <li>・チケットの販売情報、貸館を含む公演に関する緊急情報等の配信も実施する。</li> </ul>
デジタルサイネージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館紹介、主催事業、貸館公演の情報掲出のほか、スポンサーや協賛等の企業広告にも活用</li> <li>・非常時において緊急情報発信や上野公園内、交通機関の情報掲出等にも活用</li> <li>・館内のほか、館外にも設置し、美術館や博物館等へ上野公園へ来る観光客等への訴求力を高める。</li> </ul>
チラシ ポスター パンフレット 広報誌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗練されたデザインと内容を重視した、訴求力のある紙面構成を行う。</li> <li>・定期的に広報誌を発行するとともに、ウェブで配信する。</li> <li>・公演情報の多言語化による発信を行う。</li> <li>・館紹介のパンフレット(多言語)を発行し、観光案内所、宿泊施設等へ配布する。</li> <li>・音楽関連施設だけではなく、近隣の図書館や生涯学習センター、各種学校等への配布を強化する。</li> </ul>

各媒体の特性に応じた広報を行い、訴求力を高める取組をしていきます。

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題3 [事業に関する業務] 4 館の事業を支える仕組みについて  
(1) 広報の充実

情報発信方法	主な手法
<p>チケットシステム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性が高く、効率的に、チケットを国内外から購入出来るチケットシステムの導入。 →利用者にとって、チケットを購入しやすいチケットシステム</li> <li>→海外からのチケット購入のオンライン化、海外クレジットカード対応</li> <li>→館内に設置できる情報端末(タブレット等)を導入し、端末を利用したチケットの購入・発券等</li> <li>→クレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済の運用拡大</li> </ul>
<p>メディア等対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア各社への定期的なリリースの送付による取材促進、及び、メディア担当者との連携を強化する。</li> <li>・「東京ロケーションボックス」をはじめ、映画、テレビドラマ、雑誌の撮影依頼、取材要請に対しては、絶好の広報チャンスと捉え、事業やお客様へのサービスに支障のない範囲で積極的に対応する。</li> <li>・財団全体のプレス発信媒体も活用してさらに多面的に情報を届ける。</li> </ul>
<p>東京都や他の都立文化施設等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の広報活動との連動展開 →主な主催事業については東京都と連名でプレス発表を行うほか、随時、都庁記者クラブに情報提供</li> <li>・財団の戦略的プロモーションを活用した広報・PR展開 →財団が取り組む戦略的プロモーションの中で実施する広報誌やウェブサイトで公演情報等を広報・PRする。 →当館ウェブサイトで当財団が管理運営する他施設・機構等を紹介する他、様々な媒体で展開する財団共通広報にも協力し、多角的な広報活動を実施する。 →外国人観光客誘致のための取り組みとして、英語・中国語・韓国語版パンフレットを作成し、近隣の主要駅、観光案内所や宿泊施設、都内のホテル、大使館などへ財団全体の取り組みと連携して配布する。</li> <li>・多様な主体と連携した広報・PR展開 →公演内容や目的にそって関連性や親和性の高い分野や機関など多様な主体と連携し、新たな手法も含めた幅広い魅力発信に取り組む。</li> </ul>
<p>舞台芸術に関心の低い方へアプローチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー向けのアプローチの一環として、子供や孫等への情操教育の手段として活用できるよう、当館の魅力的な公演やワークショップの情報を幅広く周知する。 →当館が開催するコンサート(未就学児向けや無料公演を含む)やワークショップについて、子育て・教育関係の雑誌・HP・TV番組等への広告出稿や取材対象として働きかける。</li> <li>・上野「文化の杜」新構想に関連し、今まで培ってきた「まちなかコンサート」等での美術館・博物館側との連携を軸に、上野の美術館・博物館等へ来館する人へのアプローチを強化する。 →上野公園内の各館との広報連携を行い、美術館・博物館の来館者へ当館の活動をPRする。各館にて当館の広報誌・チラシ等の設置、デジタルサイネージでの共同プロモーション等。</li> <li>・建築物としての魅力や多様な方法による発信により来館を促進する。 →建築ツアーや著名人を起用した発信・イベント等を通じて、当館に対する注目度を高める。</li> </ul>
<p>事業者名・団体名</p>	<p>公益財団法人東京都歴史文化財団</p>

## 提案課題4 [館の運営に関する業務] 2 館内サービスについて (1) 来館者への基本的なサービス

### 1. 実施方針

音楽芸術を継承、創造及び発信する場を提供するとともに、来館者の方々が文化的環境を満喫することができる豊かな場所となるよう、来館者の立場に立ったサービスを提供してまいります。

#### (1) 地域の文化拠点として、心豊かな生活の実現を目指します

潤いと誇りを感じることのできる心豊かな生活を実現するための場として、また、社会参加の機会を開く社会包摂の機能を有する文化拠点として、満足度の高い時間をお客様へ提供する運営を目指します。

#### (2) あらゆる事態に対応できるプロフェッショナルなスタッフを揃えます

日常的にはきめ細やかな、そして緊急時には迅速・確実な対応を徹底します。受付・警備・清掃・ホール案内について、専門的な訓練を受けたスタッフを擁する事業者へ委託し、それぞれ研修を繰り返すことにより、接遇レベルを常に高く保ってまいります。

### 2. サービス充実に向けた取組み

#### (1) 受付案内業務

来館者や主催者を最初にお迎えするのは受付・案内スタッフです。この受付・案内スタッフの気持ちの良い対応が、館のファンをつくる大きな要因の一つになると考えます。

総合案内、施設の予約や利用料金の支払い窓口、音楽資料室、チケットサービス、ショップ、レストランなど、お客様と接する全ての場所を、館の顔と位置付け、接客レベルの高い事業者を活用し、質の高いサービスを安定的に提供いたします。

※総合案内・電話案内:2名以上配置(利用状況により増員対応)

※チケットサービス窓口・電話受付:3名以上配置(チケット販売状況により増員対応)

※会議室受付:2名以上配置(利用状況により増員対応)

特に、入場待ち時間の短縮や社会包摂への対応、ペーパーレス化の観点から、自主事業におけるチケットレス入場(QRコード、バーコード等)を促進します。

当館主催事業の当日券情報は、全ての公演で下記により発信していますが、今後、購入者・来場者からのご意見等を踏まえつつ、発信方法や頻度等について柔軟に対応していきます。

- ① X(旧 Twitter)公演前日と当日の2回発信
- ② ウェブサイトの公演ページ(チケット欄)に記載(日・英)
- ③ ウェブサイトのトップページお知らせ欄に項目立てて記載(日・英)

#### (2) バリアフリーへの配慮

① 当館は建築年代が古く、現代仕様の施設に比べ設備面では劣る部分がありますが、こうしたハード(老朽施設)の限界をソフト(心くばりと工夫)でカバーすべく、車椅子の方や高齢者の方々が心地よく過ごしていただけるよう、きめの細かい接遇によって最善を尽くします。

② エレベーターのない大ホールについては、楽屋口エレベーターを使い、屋上の屋外通路から4階客席へ入るバリアフリー動線を設けています。また、多目的トイレ(音声案内付)、点字ブロック、オストメイトを整備しています。

③ 高齢者や子供、障害者、外国人が安全にストレスなく芸術文化に触れていただけるよう、館をあげて取り組みを進めます。

《例》

- ・大きな文字表示、多言語表記
- ・外国語を話せるスタッフの配置
- ・筆談、車椅子、補助犬、ベビーカー対応
- ・客席内階段への手摺り設置、ユニバーサルガイドの作成、サイン表示
- ・誰もが読みやすく使いやすいアクセシビリティに配慮したホームページの運営
- ・クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー事業を通じた手話通訳者の配置

事業者名・団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団
----------	-----------------

**提案課題4 [館の運営に関する業務] 2 館内サービスについて**  
**(1) 来館者への基本的なサービス**

**(3) 海外からの来館者等へのサービス充実**

海外から日本を訪れる外国人に、当館をご利用していただけるよう、次のような取り組みを進めていきます。

①外国語案内の充実

＜例＞ホール内での外国語によるアナウンスを実施

総合案内での携帯型音声通訳機導入等による外国語対応の拡充(英語以外)

多目的トイレの音声案内の多言語化

②ホール施設内のサインの見直し、広報物、チラシ等の多言語化

③チケット購入時、英語表記の伝票を使用、クレジットカードや電子マネーでの決済対応

④海外からのチケット購入のオンライン化

**(4) 救急対応**

長年にわたる救急対応の経験を活かし、館内スタッフの連携により、迅速で万全な安全管理体制を構築します。

**(5) その他基本的サービス**

①レセプション業務 : 専門的な訓練を受けたスタッフを擁する事業者へ委託します。

※レセプション配置数 (4月～10月)大ホール25人 小ホール5人(業務責任者1名含む)

(11月～3月)大ホール27人 小ホール5人(業務責任者1名含む)

②無料コインロッカー : 小ホールホワイエ、音楽資料室に設置します。

③車椅子の貸出し : ご希望により貸し出します。(4台)

④キッズシートの貸出し : ご希望により貸し出します。(30個)

⑤給水機の設置 : 資料室前、大ホール客席4階、大ホール売店カウンター隣、小ホール売店カウンター隣に設置します。

⑥託児室の提供 : ご希望により貸し出します。

⑦大小ホール袖、リハーサル室、楽屋エリア、会議室エリアのネットワーク環境を整備しました(令和3～4年度)。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団



**提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について (2)危機管理体制の整備**

**1. 危機管理対策の基本的考え方**

施設の管理運営に伴う危機とは、火災、地震、風水害、感染症、不審者、テロ、建物・設備等に起因する事故など、様々なものが想定されます。これまで財団が培ってきた安全管理ノウハウに基づき、危機管理対策の向上に努めてきましたが、さらに新型コロナウイルス等の感染症が発生した際の対応を含め、危機に際し柔軟な対応ができるよう、危機管理マニュアルの見直し、社会状況に合わせた対策の策定や訓練を行うなど、これまで以上に危機管理対策の推進を図ります。その際、都立文化施設として、地域や館の特性等を踏まえ、より実践的・効果的な対策を講ずべく尽力いたします。

当館は、東京都が目指す「安全・安心な都市」の実現に向け災害対応力を備えるとともに、後世に継承させていくべき文化資源を守ることを目的に、以下の危機管理対策を実施します。

**2. 危機管理における対応・対策**

**(1) お客様の安全確保等の取組**

来館されたお客様に対する安全確保は、施設管理運営の根幹となります。危機管理マニュアルを作成し、日頃から対策を進めるとともに、非常時の連絡体制を明確にし、万全の対応をとっていきます。主な危機に対する対応は以下のとおりです。

なお、テロ等の緊急処理事態に備えて、日頃から、東京都等の関係機関と危機情報を共有するとともに、各館と所轄警察署との緊密な連絡体制を維持していきます。また、オリンピック・パラリンピック開催時に実施したテロ対策の取り組みを活かし、テロ等に対し、引き続き、対策を進めます。

さらに、新型コロナウイルスをはじめとした、感染症の拡大防止についても、お客様の安全確保のため、また、都民開放施設の責務として、東京都及び医療機関等と連携し適切に実施いたします。

	対 策	発災時の対応
地震 火災 風水害	<ul style="list-style-type: none"> <li>火気器具周辺には燃えやすいものを置きません。</li> <li>展示品等の落下防止、転倒防止などの対策をします。</li> <li>消火器等防災設備位置と避難誘導導線について日頃より把握するとともに定期点検を実施します。</li> <li>館周辺を見回り、強風にとばされやすいものや被害拡大につながる危険物を事前撤去します。</li> <li>看板等の取り付けを確認します。</li> <li>日頃より、周辺機関と連携を密に取り、あらゆる事態を想定した訓練を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の安全確保を最優先とし、各自が自衛消防計画に基づき初期消火、消防・警察への通報、避難誘導を行います。</li> <li>地震の場合には、地震の大きさや震源地情報、館周辺の被害状況等を情報収集し、お客様に適宜適切に情報提供を行います。</li> <li>SNSを利用して、施設周辺の状況や交通情報等お客様に必要な情報を提供いたします。</li> <li>負傷者が発生した場合は、負傷者の応急手当や、同行者の捜索を行うとともに、直ちに医療機関に連絡を行い、搬送の協力を行います。</li> </ul>
不審物 不審者 テロ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>挙動不審の者がいたら声をかけるとともに、関係部署への連絡連携を密にするよう心がけます。</li> <li>職員は必ず職員証を携帯します。</li> <li>放置機材や荷物等による死角となる場所をつくりません。</li> <li>所管警察署等が行う訓練への参加等、日頃から緊密な連絡体制を構築します。</li> <li>テロ予告やテロ発生時の対応について、事前に危機管理マニュアルに定めることで、万が一、予告があった場合及びテロが発生した際に、適切に対応するよう備えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の安全確保を最優先とし、警察への通報、関係部署への連絡を速やかに行い、迅速に必要な対応を行います。</li> <li>テロ発生時には、事前に定めたマニュアルに基づき、テロの形態等に応じて避難行動を行うなど、適切に対応を行います。</li> <li>爆破予告等があった場合、危機管理マニュアルに基づき、直ちに警察へ通報するとともに、お客様を館外の安全な場所へ避難誘導いたします。避難誘導後、トイレ、ゴミ箱等館内を再点検し、不審物の有無を確認します。</li> </ul>
感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健所や最寄り医療機関等との連絡体制を構築します。</li> <li>平常時からの対策として消毒液等を設置し注意喚起します。</li> <li>新型コロナウイルス等の感染症が都内で拡大している時期には、施設管理者として対応方針を定め、徹底して拡大防止に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染の疑いのある来館者が発覚した際は直ちに保健所へ情報提供し、指示に従い行動します。</li> <li>新型コロナウイルス等に職員が感染した際は直ちに保健所へ連絡をし、指示に従い行動します。併せて、HP等で必要な情報公開を行います。</li> </ul>
事故 急病人	<ul style="list-style-type: none"> <li>所轄警察・消防署や最寄り医療機関等との連絡体制を構築します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救護室提供や応急手当の実施、救急車の出動要請(必要に応じて同行)等、迅速に対応します。</li> </ul>

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について (2) 危機管理体制の整備

### (2) 音楽資料室所蔵資料等に対する取組

お客様に対する安全確保とともに、音楽資料室で所蔵している貴重な資料、図書、レコード等を災害・盗難等から守り、確実に後世に継承させていくことも財団としての重要な役割です。

書庫を確実に固定するなど、地震時における図書の落下防止の処置をとっています。

また、盗難等の対策としては、警備監視員による立哨警備を中心に、地震・火災のみならず爆発物・盗難・不審人物のチェック等万が一に備えております。

### (3) 消防設備及び感知器の設置、訓練等

#### ① 消防設備

ハロゲン・ガス、スプリンクラー、携帯消火器、消火栓、防火シャッター、非常用自家発電機

#### ② 感知器

自動火災報知器、煙感知器、熱感知器、排煙機

#### ③ 訓練

消防計画に基づき、近隣消防署の協力を得て、消火器の実放射訓練、屋外消火栓の放水訓練、通報訓練、避難誘導訓練などを行う自衛消防訓練を行います。

#### ④ その他

館内にAEDを適切な位置に設置し、即時対応が取れる体制を整えます。また、防犯カメラについては、管理責任者を配置して要綱に基づき適正な運用を図っていきます。また、災害時に利用できるWi-Fiを適切に保守・運用します。

さらに、避難誘導の際に、海外からの来館者に適切な情報が伝わるよう、多言語による対応にも努めます。

## 3. 危機発生時の連絡体制の確保

危機発生時は、財団本部及び当館で災害等の情報収集を迅速に行います。当館の状況は、随時、財団本部と東京都に対して報告します。当館では、連絡体制を確保するため、現場対応を担う職員と連絡調整を行う職員を区分するなど、館内の情報を共有した上で、緊密な連絡体制を確保します。そのため、緊急時に至急の連絡伝達を行う担当者「連絡責任者」をローテーション表等に明示します。隊長不在時には副隊長がその代理を務める、班長不在時には次席の班員が班長を務めるなど、勤務状況等に応じた実践的な体制を構築します。さらに、効率的な緊急対応を行うために当館で実施している方法等については、他館でも実施できるよう情報共有を図っていきます。閉館時においては、館内に常駐する監視警備員等から副館長等に被害状況等を報告することとし、状況に応じて財団本部に連絡し、緊急連絡網により参集した職員が対応します。また、緊急用携帯電話を配布し、休日夜間でも速やかな対応が可能となる体制を構築します。

災害・事故等発生時には、正確かつ迅速な情報発信のためマスコミへの確に情報を提供します。そのため、館内の危機発生時における体制を徹底し、指示・命令系統の徹底を図ることで、情報発信の一元化を図ります。

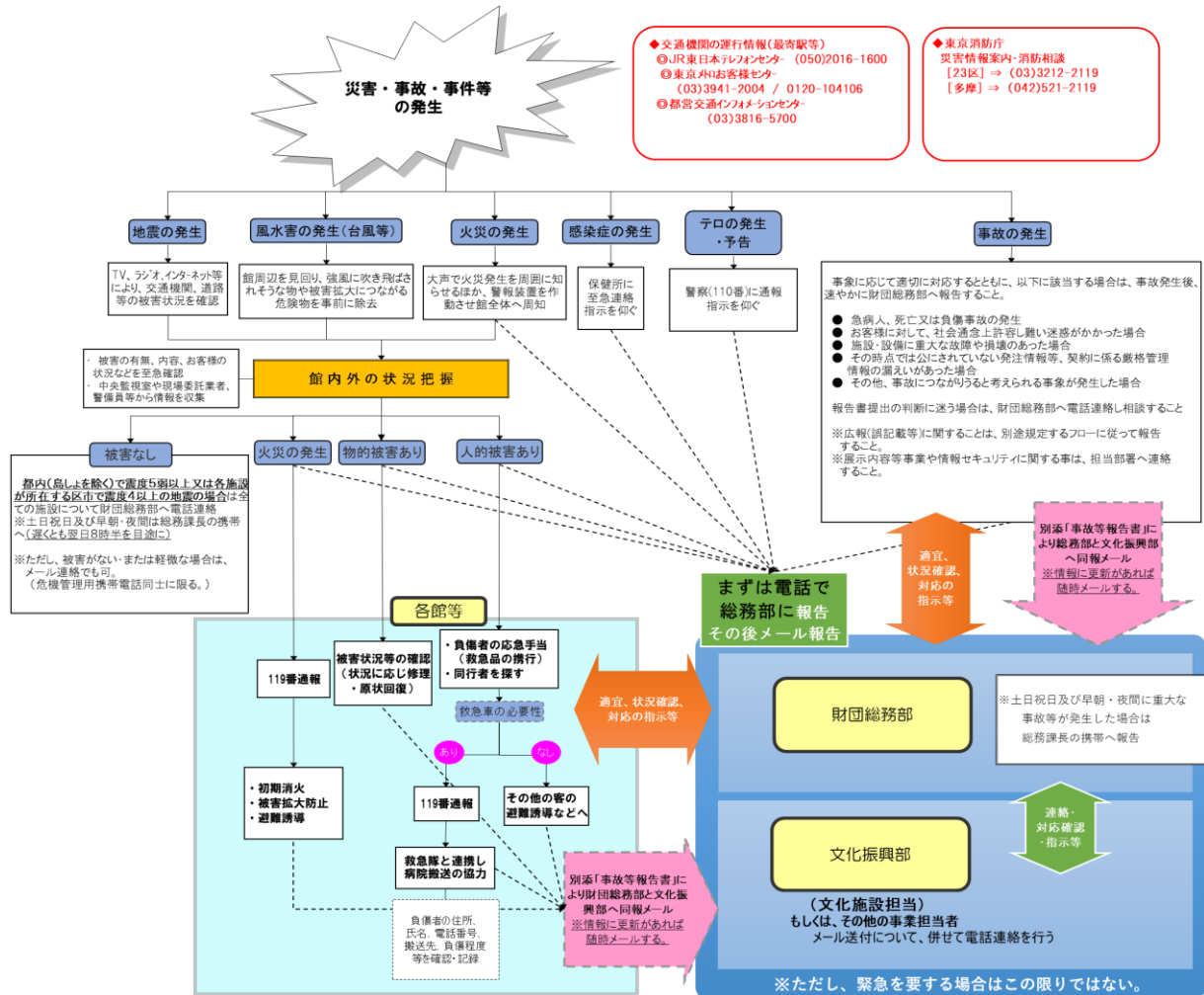
なお、東京都政策連携団体として、不適正事案発生時には、行政改革推進部にも報告をいたします。

事業者名・団体名

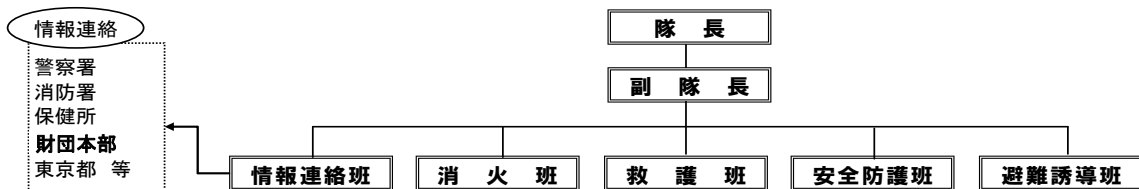
公益財団法人東京都歴史文化財団

提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 1 館の管理について  
(2) 危機管理体制の整備

(1) 災害・事故等発生時におけるフロー(イメージ)



(2) 館内の災害・事故等発生時における体制例



4. 災害発生時における都立文化施設としての役割の遂行

大規模災害発生時等には、都との協定に基づき、都立施設に求められる一時滞在施設等の役割を適切に果たし、災害備蓄品の提供や、負傷者の救護医療スペースの確保などを東京都と協議の上、実施していきます。

また、都が指定する広域ボランティア活動拠点として指定された場合については、災害発生時、広域拠点として使用スペースの提供を行うなど、関係機関等の活動に協力します。

さらに、東京都国民保護計画における大規模集客施設として、テロ等の発生に備え、危機管理の強化を日頃から行うとともに、テロ等の危機に関する事業者連絡会に参画し、関係団体や地域団体と危機情報の共有を図ります。

今後も、より安全・安心して都立文化施設を利用していただけるよう、警察・消防機関の他、関係団体や地域団体等との連携を進め、危機管理体制の万全を図ってまいります。

事業者名・団体名 公益財団法人東京都歴史文化財団

## 提案課題6 [館の管理その他に関する業務] 2 地域等との連携の取組について

## 1. 基本的考え方

上野地域は、我が国を代表する文化施設や芸術系大学等が集積し、国内屈指の文化芸術拠点を形成しており、来街者は年間1,500万人を超えると言われています。地元台東区や地域の商店会や観光連盟や東京文化資源会議等も、地域の活性化を図るべく、文化・観光のまちづくりに積極的に取り組んでいます。

当館は、地域の文化施設、東京藝術大学、文化庁、東京都、台東区、地域団体、鉄道事業者等により構成する、上野文化の杜新構想実行委員会の一員として、地域の魅力を高める事業に積極的に取り組んでいます。

それぞれ力のある各施設が連携を深めることで、上野公園地域全体の魅力を高め、それがまた各館に還元されるような正のスパイラルを描くべく、上野文化の杜新構想実行委員会を通じて、地域全体としての連携イベント、情報発信の取組等に積極的に参画してまいります。また、教育普及活動や気軽な鑑賞機会の提供、建築の魅力のアピール等、東京文化会館の事業の効果を高めるため、それぞれの分野での各施設・地域団体との連携の充実も進めてまいります。

## 2. 連携の取組

## (1) 地域全体での取組

- 情報発信機能の強化……上野文化の杜ポータルサイトの構築、多言語化、バリアフリー化、案内サイン
- 連携事業の実施……東京音楽コンクールの入賞者など、若手音楽家がホール、博物館、美術館などの文化施設をめぐって演奏する、「文化の杜の音めぐり」を実施します。

## (2) 文化会館と文化施設、地域団体との連携

## &lt; 教育普及活動 &gt;

- Museum Start あいうえの

上野地区の多彩な芸術文化が融合した取組みである「Museum Start あいうえの」。各文化施設ではその特徴を生かした教育プログラムを実施していますが、複数の施設が連携することで、幅広いプログラムが実現します。美術を専門とする東京都美術館が中心となって美術に関心を持つ児童を、音楽や絵本に結びつけた、「あいうえの冒険隊」は大成功を収め、今後も一層の連携を図ります。

## &lt; 多ジャンルの文化施設が連携する気軽な音楽鑑賞機会の提供 &gt;

- まちなかコンサート

美術館、博物館のロビー等を活用し、各施設の企画と連動したコンサート等を企画し提供します。当館のお客様にコンサートを気軽に体験していただき、新たな音楽ファンの創出を図りながら、新進演奏家の活躍の機会も創出する取組みです。

## &lt; 地域商店会等との連携 &gt;

- 夏休み子ども音楽会

夏休みに開催する子供も楽しめるコンサートです。パンフレットを持参すると、「上野のれん会」店舗の協力による優待サービスが受けられます。上野公園からまちへの回遊のきっかけを提示しています。また、近隣文化施設の無料入場等、文化施設間の連携も同時に実施します。

- オペラBOX

東京音楽コンクール入賞者を支援するコンサートから始まったオペラBOXを、当初から上野中央通り商店会が応援しています。入場券を購入し、商店会の景品として活用することで、観客動員と来店客の増加の相乗効果を図っています。

- オペラをつくろう

文京アカデミーと連携し、都内近郊に在住する児童を対象としたワークショップを実施します。地域のファミリーが文化施設に足を運ぶ機会を創出するとともに、会場の提供や職員の育成等、それぞれのメリットを活かした協力関係を構築します。

- 教育普及・社会包摂ワークショップ

近年、参加型プログラムの要となっているワークショップの先駆的な取組を行っている当館が、文京区や港区、立川市等の文化施設や福祉施設等とも連携して各地で開催します。各地・各施設のニーズに応えるとともに、ワークショップリーダーの活躍の機会の創出にも繋がります。

## &lt; 上野公園近隣施設の回遊性 &gt;

- 夏休み子ども音楽会 (再掲)

夏休みに開催するファミリー向けコンサートの当日、コンサートの入場者に「上野1DAYパス」を配布します。上野公園近隣施設の連携協力により、無料又は割引で回ることができます。

- 東京都都市公園制度制定150周年記念事業へ協力

- ・上野恩賜公園開園150周年総合文化祭でのブース出展
- ・上野恩賜公園内デジタルスタンプラリーの実施 ほか調整中

## &lt; 建築物の魅力の発信 &gt;

- 西洋美術館と連携した魅力の発信

東京文化会館は、戦後のモダニズム建築の代表的建築物であり、前川國男が師と仰ぐル・コルビュジエの設計した西洋美術館への敬意を込めて調和的に設計された建築物です。世界遺産登録された西洋美術館と連携した魅力の発信に努めます。

事業者名・団体名

公益財団法人東京都歴史文化財団